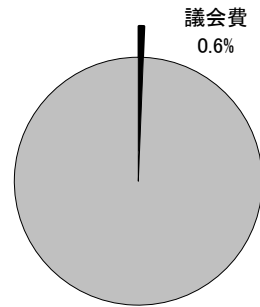


V 主要事業の成果

※特定財源がある事務事業についてののみ
【財源内訳】欄を設けています。

第1款 議会費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	522,561	502,585	0	0	61	502,524	96.2%
令和4年度	503,719	492,166	0	0	60	492,106	97.7%
増△減	18,842	10,419	0	0	1	10,418	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

議会費

- 1 議場システム機器の改修 6,850,000円 6,820,000円

＜議会及び事務局運営管理費＞

平成17年度より稼働している議場システムについて、経年劣化に対応するため、改修を行いました。令和5年度は、3年計画の1年目として調整室制御架内機器のオーバーホール及び更新、議場内プラズマディスプレイの更新等を行いました。

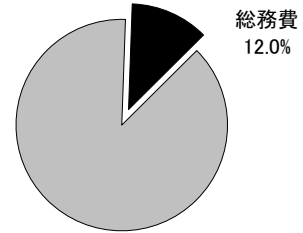
- 2 本会議インターネット中継の字幕配信 4,660,810円 4,594,810円

＜市議会情報化関係費＞

聴覚障がい者への合理的配慮及び市民に開かれた市議会の実現と積極的な情報公開を目的として、令和5年第3回定例会より本会議インターネット中継の字幕配信と議場内傍聴席でのモニターによる字幕表示を開始しました。

第2款 総務費

■一般会計に占める割合



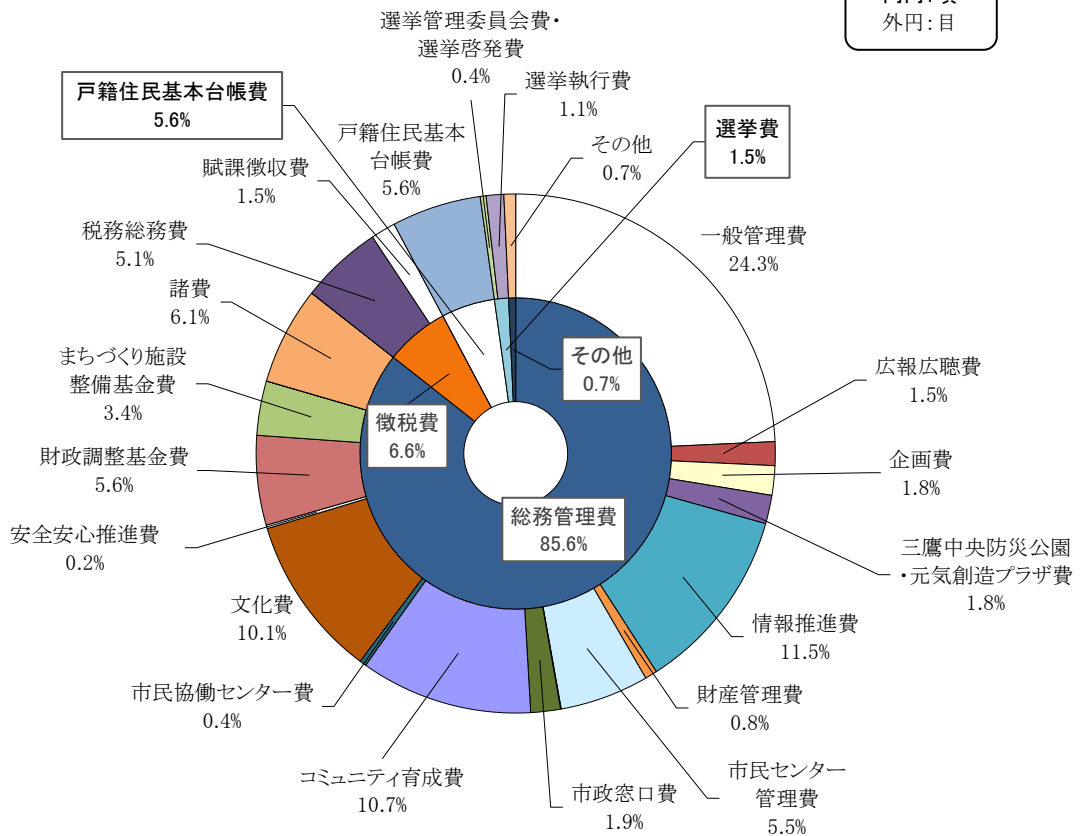
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	10,322,231	9,328,534	749,454	162,000	275,930	8,141,150	90.4%
令和4年度	10,498,295	9,891,466	836,993	52,300	258,914	8,743,259	94.2%
増△減	△176,064	△562,932	△87,539	109,700	17,016	△602,109	—

決算額 項別目別構成比

内円: 項
外円: 目



総務管理費

1 職員力と組織力の向上に向けた取組 7,820,585円 5,971,084円

＜職員人事管理費＞

新たな行政課題や時代のニーズに対応できる人財を確保するため、一部の採用試験にテストセンター方式を導入するとともに、専門性の高い知識や技術を活かして活躍できる人財を確保するため、新たな専門職種の採用試験を実施しました。また、三鷹市で働く環境について広く発信するため、職員採用特設サイトの開設や職員採用パンフレットを作成しました。そのほか、職員の専門性の向上やキャリアアップを図るため、スペシャリスト養成型人事制度の導入に向けた検討を行いました。

【各部の運営方針と目標 総務部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】

- ・テストセンター方式による職員採用試験の実施＜10月＞⇒10月、2月
- ・新たな専門職試験の実施＜8月＞⇒福祉職を対象とした専門職試験を8月に実施
- ・令和6年度のスペシャリスト養成型人事制度の導入に向けた検討⇒検討済
- ・職員採用計画の策定＜2月＞⇒令和6年度職員採用実施計画を2月に策定・公表

〔実績・内容〕

採用試験におけるテストセンター方式の導入

試験職種	一般事務上級試験(経験者採用)	一般事務上級試験
試験期間	令和5年9月29日～10月9日	令和6年2月10日～2月19日
申込者数	131人	217人
受験者数	107人	150人

2 人事任用制度の見直し

人事考課システムの更改に合わせて、より一層職員の業績や能力、勤務態度等の評価を可視化し、公正・公平な人事・給与制度を確立するため、新たな人事考課制度の導入に向けて検討を行いました。また、昇任昇格制度を見直し、課長補佐職選考試験における筆記選考の廃止など実施方法を変更することで、より多くの対象者が受験できるよう環境整備を行いました。

【各部の運営方針と目標 総務部主要事業① 目標指標⇒達成状況】

- ・新たな人事考課制度の導入＜1月＞⇒制度の導入に向けた検討
- ・令和6年度の昇任昇格制度の見直しに向けた検討⇒一部導入済

〔債務負担行為の内容〕

人事考課システム利用料

(令和6～10年度＜債務負担分＞24,200,000円)

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 「子どもたちからの人権メッセージ発表会」の開催 2,117,000円 1,709,255円
 <人権啓発関係費>

子どもたちに人権尊重の大切さと自由に意見を表明する権利を理解してもらうため、多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会（三鷹市、多摩東人権擁護委員協議会、東京法務局府中支局で構成）の主催により「第30回子どもたちからの人権メッセージ発表会」を開催しました。

[実績・内容]

- 開催日 令和5年9月9日（土）
 会場 三鷹市公会堂光のホール
 内容 ・多摩地域13市の小学4年生から6年生までの参加児童2,377人を代表して30人が発表を行いました。
 ・三鷹市からは、市立小学校5校（中原小学校、北野小学校、井口小学校、東台小学校、羽沢小学校）の児童が参加しました。

【財源内訳】

都支出金 1,709,255円

4 まちづくり応援寄付の推進 1,892,400円 1,347,400円
 <まちづくり応援寄附推進事業費>

市の魅力発信や来訪者の増加につなげるため、まちづくり応援寄付（ふるさと納税）における返礼品を拡充したほか、デジタル広告を導入しました。また、吉村昭書斎の整備において、クラウドファンディングを実施するなど収入確保と市の魅力発信に取り組みました。

[実績・内容]

寄付の受入

- ・ふるさと納税制度による返礼品を活用した寄付

受入実績 15,435,000円（1,203件）

- ・NFT画像の返礼品の導入 347,400円

令和5年2月に地域活性化包括連携協定を締結したFC東京と連携し、三鷹のまちをPRするキャラクター「たかじょうくん」とFC東京のチームマスコット「東京ドロンパ」をあしらったNFT画像の返礼品を導入しました。

また、市の魅力を発信するため、市外から足を運んでもらう体験型の返礼品として、みたか観光案内所内に設置した二次元コードを読み取ることで、オリジナルのカメラフレームNFTが贈呈される仕組みを構築しました。

受入実績 260,000円（13件）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・デジタル広告の導入 1,000,000円
 ふるさと納税のプロモーションを行うため、インターネット検索ポータルサイトにデジタル広告を導入
 掲載期間 令和5年11月～12月
 ポータルサイトアクセス件数(※) 35,327件（前年度比14,933件増）
 ※令和5年11月～12月集計
- ・クラウドファンディングの実施
 吉村昭書斎の整備（82ページ参照）
 受付期間 令和5年10月3日～12月31日
 受入実績 580,000円（25件）

5 「Poki（ポキ）」の活用促進 3,656,000円 3,643,728円

＜ポキ活用促進関係費＞

株式会社スタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクター「Poki（ポキ）」をテーマにした4コマまんがコンテストを引き続き開催し、更なる周知と魅力発信を図りました。

〔実績・内容〕

- 応募総数 525作品（一般部門 262作品、ジュニア部門 263作品）
- 受賞数 37作品（一般部門 20作品、ジュニア部門 17作品）
- 表彰式 令和5年12月17日（日）
- 作品展 令和6年2月7日（水）～2月12日（月）

6 個人情報保護制度の適正な運用

「個人情報の保護に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正に伴い、令和5年4月に施行した「三鷹市個人情報保護条例」の全部改正について、法改正の趣旨を踏まえつつ、これまでの市の取組を継続・充実させるため、研修の実施など庁内周知を徹底し、制度の適正な運用を図りました。

【各部の運営方針と目標 総務部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】

- ・個人情報保護制度における安全管理措置の管理体制や運用ルールの適切な運用⇒運用済
- ・個人情報保護担当者を対象とした研修の実施 2回⇒2回

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
7 寄贈物件等を活用した魅力あるまちづくりの検討	2,771,445円	2,390,860円
<p>＜企画調査関係費、三鷹まちづくり総合研究所関係費＞</p> <p>令和5年4月に寄贈を受けた土地及び家屋5棟の具体的な利活用に向けて、三鷹まちづくり総合研究所（以下「研究所」という。）に設置された「寄贈物件等を活用した魅力あるまちづくり研究会」において調査・研究を行い、令和6年3月に研究所から市に報告書が提出されました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 企画部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】</p> <p>将来的な空き家の利活用も視野に入れた研究所での調査研究⇒通年で調査研究を実施済</p> <p>〔施設概要〕</p> <p>所在地 下連雀一丁目59番2、59番19</p> <p>面積 土地 668.52㎡、建物 447.20㎡（総床面積）</p> <p>〔施設の基本的な考え方〕</p> <p>「美術・芸術」「クリエイティブな活動（新しい価値の創造）」をテーマに、将来有望な学生等が暮らし、創作し、地域や居住者同士の交流が創出される「文化の薫り高い三鷹」の地域拠点を目指します。</p>		
8 LGBTをはじめとする多様な性に関する研修の推進	265,250円	235,550円
<p>＜男女平等参画推進関係費＞</p> <p>人権としての性の尊重を基礎としたまちづくりの推進に向けて、性的マイノリティに関する現状や課題、市職員に求められる配慮や対応など、正しい理解を深めるため、令和5年度は主任・主事職を対象とした研修を実施し、ほとんどの正規職員の研修受講が完了しました。</p> <p>また、「人権を尊重するまち三鷹条例」の理念を踏まえ、性的マイノリティの方の生きづらさや生活上の支障を軽減し、地域での理解促進につなげるため、令和6年3月に「三鷹市パートナーシップ宣誓手続条例」を制定し、4月から運用を開始しました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <p>性的マイノリティの方を講師として招き、性の多様性に関する基礎知識のほか、性的マイノリティの方が遭遇しやすい困りごとや職場・窓口対応での解決のヒントなど、当事者ならではの視点を踏まえた研修を実施しました。</p> <p>開催日 会場開催 令和5年10月27日 オンライン 令和6年3月1日～3月18日</p> <p>受講者数 371人（会場受講者 26人、オンライン受講者 345人）</p>		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 市民参加でまちづくり協議会の活動の推進 36,385,595円 27,290,572円

＜参加と協働推進事業費＞

地域課題の解決や持続可能な地域社会の実現に向けた市民参加の取組として、令和3年度に設立した「市民参加でまちづくり協議会（以下「協議会」という。）」の活動を推進しました。協議会メンバーの市民参加の実践により、多様な市民の思いやアイデアを聴き、延べ1万人を超えるまち（市民）の声を集めました。集めた声をもとに議論を重ね、「三鷹市基本構想」や「第5次三鷹市基本計画」の策定に向けた政策提案（提案数87件）を市に提出しました。

【各部の運営方針と目標 企画部主要事業① 目標指標⇒達成状況】

協議会からの政策提案の提出＜7月＞⇒7月

〔実績・内容〕

・市民参加でまちづくり協議会の活動

多様な市民の思いやアイデアを市政に反映させる立案者として、また、地域の課題を市民とともに解決する支援者として、市への政策提案に結実させることを目的に、傾聴・対話・共感を活動方針に掲げ、活動を継続しました。

市への政策提案に向けて、部会の各グループが決定した政策テーマの課題や解決策（アイデア）等について議論を重ね、令和5年7月に開催した第4回全体会で最終報告を行い、市に提案書を提出しました。また、令和5年12月に総会（解散式）を開催し、協議会は解散しました。

市民ボランティア人数 354人（令和5年12月31日時点）

政策テーマ・グループ開催回数 938回（令和3年11月～5年12月）

政策テーマ部会の人数内訳（令和5年12月31日時点）

①快適なまちづくり部会	59人	⑤子どもが輝くまちづくり部会	59人
②活力のあるまちづくり部会	69人	⑥心ゆたかなまちづくり部会	54人
③安全なまちづくり部会	26人	⑦ふれあいのまちづくり部会	46人
④安心なまちづくり部会	41人	計	354人

・市民活動の支援

デジ活サポートサロンの開設（37回開催、相談者数 116人）

市民活動ふらっとサロンの開設（9回開催、相談者数 18人）

初心者向けZoom講習会の開催（13回開催、参加者数 54人）

・市民参加でまちづくり補助制度の取組

協議会メンバーが企画する自助・共助の取組のうち、申請のあった取組について学識経験者等による選考会で審査のうえ、活動費用を助成しました。

補助件数 10件

補助金額 1,419,118円

補助率 10/10（補助上限額20万円）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都 支 出 金	3,760,000円	一 般 財 源	23,530,572円
---------	------------	---------	-------------

10 「みたか地域ポイント」の更なる充実 56,593,495円 21,405,659円

＜ボランティアポイント・地域通貨事業費＞

ボランティア活動や地域活動の促進、地域課題の解決や地域のにぎわいを創出することを目的に令和4年12月に試行運用を開始した「みたか地域ポイント」について、令和6年4月からの本格運用を見据えて、事業を拡充しながら試行運用を継続しました。令和5年度は、地域団体が行う主体的な活動に対してポイントを付与する事業を導入するなどポイント付与対象事業の拡充や市内一部店舗でのポイント決済を導入しました。また、ポイントの愛称を一般公募から「みたポ」に命名したほか、「みたかデジタルスタンプラリー」の開催や「タッタカくん！ウオーク&ランアプリ」と連携するなど、利用者の利便性を向上し、市民にとって身近で愛着のある事業となるよう取り組みました。さらに、本格運用に向けた基本的な考え方や今後の事業展開の在り方を示した「三鷹市地域ポイント事業基本方針」を策定しました。

【各部の運営方針と目標 企画部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】

- ・本格運用に向けた方針の決定＜10月＞⇒2月
- ・ポイント付与対象事業及びポイント利用方法の拡充⇒拡充済
- ・ポイントの愛称募集・決定＜3月＞⇒2月

〔実績・内容〕

アプリ登録者数	2,930人
市内参加店舗数	37店舗
付与ポイント数	2,555,515ポイント（デジタルのみ）
利用ポイント数	560,887ポイント（デジタルのみ）
ポイント付与対象事業	ボランティア 33件
	イベント 16件
	その他 8件

【財源内訳】

都 支 出 金	21,134,000円	一 般 財 源	271,659円
---------	-------------	---------	----------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額																		
<p>11 「人権を尊重するまち三鷹条例」の制定に向けた取組 <人権を尊重するまち三鷹条例関係費></p> <p>一人ひとりの人権が尊重され、誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた指針となる「人権を尊重するまち三鷹条例」を令和6年3月に制定しました。制定に当たっては、各種市民会議や審議会、「市民参加でまちづくり協議会」の政策提案のほか、パブリックコメントなどにより、意見を反映しながら取組を進めました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 企画部主要事業② 目標指標⇒達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格案の作成<6月>⇒6月 ・素案の作成<12月>⇒12月 <p>[実績・内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種審議会でのヒアリング 8回 ・基本的な考え方・骨格案についての意見募集の実施 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>実施時期</td> <td>令和5年7月14日(金)～8月8日(火)</td> </tr> <tr> <td>提出件数</td> <td>48件</td> </tr> </table> ・「三鷹市人権基本条例(仮称)」の制定に向けた市民フォーラムの開催 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>開催日</td> <td>令和5年11月18日(土)</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td>人権基本条例の意義～市民とともに憲法と人権の理念から考える～(講師 木村草太氏)</td> </tr> </table> ・パブリックコメントの実施 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>実施時期</td> <td>令和5年12月15日(金)～令和6年1月5日(金)</td> </tr> <tr> <td>提出者数</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>提出件数</td> <td>378件(延べ件数)</td> </tr> </table> <p>【財源内訳】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>都支出金</td> <td>228,700円</td> <td>一般財源</td> <td>47,864円</td> </tr> </table>	実施時期	令和5年7月14日(金)～8月8日(火)	提出件数	48件	開催日	令和5年11月18日(土)	テーマ	人権基本条例の意義～市民とともに憲法と人権の理念から考える～(講師 木村草太氏)	実施時期	令和5年12月15日(金)～令和6年1月5日(金)	提出者数	55人	提出件数	378件(延べ件数)	都支出金	228,700円	一般財源	47,864円	734,480円	276,564円
実施時期	令和5年7月14日(金)～8月8日(火)																			
提出件数	48件																			
開催日	令和5年11月18日(土)																			
テーマ	人権基本条例の意義～市民とともに憲法と人権の理念から考える～(講師 木村草太氏)																			
実施時期	令和5年12月15日(金)～令和6年1月5日(金)																			
提出者数	55人																			
提出件数	378件(延べ件数)																			
都支出金	228,700円	一般財源	47,864円																	
<p>12 多文化共生センター(仮称)整備に向けた取組 <多文化共生センター(仮称)関係費></p> <p>三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業において整備を予定している多文化共生センター(仮称)について、再開発事業と並行して検討を進めていくこととしたため、基本方針の策定には至りませんでした。令和5年度は、これまでの意見聴取等の検討経過を踏まえ、施設のコンセプトとして、多文化共生、国際化、ジェンダー平等、多様な性の尊重、平和施策の推進について検討を進めました。</p>	19,000円	0円																		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

13 基本構想及び基本計画の策定に向けた取組 12,073,000円 4,825,316円

＜第5次基本計画策定等準備関係費＞

コロナ禍により各施策の進捗に影響が生じていることや市議・市長選挙を踏まえた新たな施策を反映させるため、それぞれ基本方針を策定し、「三鷹市基本構想」は令和5年度、「第5次三鷹市基本計画」は令和6年度に策定することとしました。

令和5年度は、「市民参加でまちづくり協議会（以下「協議会」という。）」からの政策提案や市民ワークショップの開催など、市民の多様な意見を聴きながら、「三鷹市基本構想」を策定するとともに、「第5次三鷹市基本計画」の2次案のとりまとめを行いました。

【各部の運営方針と目標 企画部主要事業① 目標指標⇒達成状況】

- ・基本構想案の市議会提出＜12月＞⇒12月
- ・基本計画2次案の確定＜3月＞⇒3月

〔実績・内容〕

令和5年6月	市民ワークショップの開催（参加者数 84人） 「三鷹市基本構想」の基本方針の確定
7月	協議会からの政策提案の受領
9月	「第5次三鷹市基本計画策定に向けた基本方針」の確定
10月	「三鷹市基本構想」案のパブリックコメントの実施 （提出者数 49人、提出件数 131件）
12月	「三鷹市基本構想」を令和5年第4回定例会に議案提出 「第5次三鷹市基本計画」の1次案確定
令和6年3月	「三鷹市基本構想」の修正可決・確定 「第5次三鷹市基本計画」の2次案確定 「第5次三鷹市基本計画」2次案のパブリックコメントの実施

14 ウクライナへの人道支援の拡充 3,880,000円 3,820,000円

＜ウクライナ緊急支援事業費＞

ロシア連邦の軍事侵攻により新たに市内に避難するウクライナの方に対し、引き続き、緊急生活支援給付金（一人当たり3万円）を支給しました。また、すでに市内に避難している方に対しては、物価高騰による支援として、追加で生活支援給付金（一人当たり7万円）を支給しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

緊急生活支援給付金

給付人数 13人

給付金額 390,000円

生活支援給付金

給付人数 49人

給付金額 3,430,000円

15 **みたかデジタル商品券事業の実施** 315,212,000円 699,571円

〈みたかデジタル商品券事業費〉

三鷹市地域ポイント事業の令和6年4月からの本格運用に当たり、みたか地域ポイントアプリの利用促進や物価高騰の影響を受けている市民生活の支援を図るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、みたかデジタル商品券を発行することとしました。令和5年度は、参加店舗の募集を行うとともに、スマートフォンを使い慣れていない方への支援策の検討を進めました。また、店舗や利用者からの問い合わせに対して、きめ細かな支援を行うため、コールセンターを開設しました。なお、令和6年度に商品券を発行することから、発行に係る運用経費等については、令和6年度に繰り越して執行します。

〔実績・内容〕

市内参加店舗数 444店舗（令和6年6月25日時点）

コールセンターの開設

開設期間 令和6年2月16日～9月13日

〔事業概要〕

販売期間 令和6年5月24日～7月31日

使用期間 令和6年6月3日～8月31日

対象者 市内在住者

購入上限額 対象者1人につき3万円（額面3.6万円）

〔繰越明許費繰越額〕

令和6年度への繰越分

みたかデジタル商品券事業費 313,752,000円

【財源内訳】

国庫支出金 699,000円

一般財源 571円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

16 能登半島地震における復興支援 1,672,037円 1,672,037円

＜能登半島地震緊急支援事業費＞

令和6年1月1日に能登半島沖で発生した地震の被災者に対し、市民をはじめとした多くの方々の支援の気持ちを現地の復興支援に役立てられるよう、市内13箇所に募金箱を設置しました。集まった募金は、義援金として日本赤十字社へ寄付しました。

〔実績・内容〕

受付期間 令和6年1月12日～3月31日（令和6年4月以降も1箇所に設置）

募金額（義援金額） 1,672,037円

【財源内訳】

寄 附 金 1,672,037円

17 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの全館融合に向けた取組

＜三鷹中央防災公園・元気創造プラザ管理運営費＞ 9,569,000円 9,315,004円

三鷹中央防災公園・元気創造プラザの利用者満足度の向上、利用者の増加を図るため、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携し、三鷹中央防災公園・元気創造プラザのより良い施設運営に向けた取組を推進しました。令和5年度は、令和元年度よりハード・ソフトの両面から多角的な視点で実施してきた総点検の総括等を踏まえて、「全館融合事業」としてのイベントの開催など継続的な事業展開を図りました。

〔実績・内容〕

- ・全館融合事業「三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデー」の開催

「生涯学習センターフェスティバル」と同日に開催し、全館をつなぐ「クイズラリー」の実施や市民参加型の館内装飾等を行いました。

開催日 令和5年12月2日（土）、12月3日（日）

来場者数 2,050人

- ・「全館融合事業実行委員会」の設置

各施設・部署の担当者等で構成する「全館融合事業実行委員会」を設置し、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデー」の企画・運営・検証を行いました。また、職員ワークショップを開催し、全館職員の関係性の構築及び事業の目的等を共有しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
18 RPA導入の推進	6,985,000円	3,410,000円
＜住民情報システム関係費＞		
定期的な業務の効率化を図るため、RPA（ロボット技術を活用した自動化ツール）の利用を推進しました。反復継続的な入力作業など、導入効果が見込める事務を洗い出し、市民税申告書等に関する情報システムへの自動入力作業など新たに8件の事務作業において自動化を行い、事務の効率化を図りました。		
【財源内訳】		
諸 収 入 3,410,000円		
19 情報基盤等の更新	508,275,000円	486,542,491円
＜情報系システム関係費、情報セキュリティ関係費＞		
庁内の業務システムを利用するための情報基盤システム、内部情報システム、財務会計システム及び職員用パソコンについて、令和4年度に公募型プロポーザルにより業者を選定し、令和5年9月に更新を行いました。更新に当たっては、セキュリティ対策の強化と業務の効率化を図るとともに、職員のリモートワークやWeb会議が可能な環境を整備しました。		
複合機については、令和5年12月に現行契約期間の満了を迎えましたが、情報基盤等の安定稼働を確認した後に更新を行うこととしたため、契約を延長しました。		
〔債務負担行為の内容〕		
複合機等使用料（令和5年度分） 1,708,146円 （令和6年度＜債務負担分＞5,124,438円 全体事業費6,832,584円）		
20 スマートシティ三鷹の実現に向けた取組	36,206,000円	29,043,098円
＜スマートシティ推進関係費＞		
令和4年6月に策定した「スマートシティ三鷹（仮称）の実現に向けた基本方針」に基づいて、引き続き、実証・実装を繰り返しながら各種施策を推進するとともに、令和6年度の「スマートシティ三鷹構想2027」の策定に向けた検討を行いました。		
【各部の運営方針と目標 企画部主要事業④ 目標指標⇒達成状況】		
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した実証及び実装事業の実施 5件以上⇒5件 ・庁内フリーアドレス化に向けた検討⇒検討済 		

〔実績・内容〕

(1) 実装に向けた取組

電子申請やアンケート等のフォームを簡単に作成・管理できるオンライン申請システム（LoGoフォーム）の利用を推進しました。令和5年度は、自転車乗車用ヘルメット購入助成申請手続きに活用するなど、約200種類の手続きをオンライン化しました。

(2) 実証に向けた取組

- ・災害時の地域住民への円滑な情報伝達と平常時の家族等の見守りのツールとして、ビデオ通話など双方向のコミュニケーションが可能なスマートスピーカーの活用を図りました。令和5年7月から9月に市内の65歳以上の方（28人）を対象に実証を行いました。操作面のサポート体制の整備や費用面での課題があり、実装が難しいことから、実証を終了しました。
- ・データ利活用基盤を用いて、人口、乳幼児数や児童・生徒数などを用いた「人口ダッシュボード」の環境整備に係る実証を行いました。
- ・子ども発達支援センターにおいて、VR（仮想現実）技術を活用した育児子育てサロンの整備に向け、育児相談やイベント等を想定した実証を行いました。特定のOS（システムソフトウェア）からの接続の安定性や操作性に課題があり、実証を終了しました。
- ・音声データをテキスト化し、記録・分析を行うボイスマイニングについては、音声認識の精度に課題が残ったことから、システムの最適化を行った上で、令和6年度に再度実証することとしました。

(3) デジタル人財の育成に向けたDX推進等に係る基礎研修の実施

職場における足元のDXを進めるため、各部の職員から新たに27人のDX推進員を選出し、人財育成に向けて研修を実施しました。

(4) 市庁舎におけるフリーアドレス化の検討

業務の効率化及び職員の執務環境の改善を図るため、庁内関係部署の連携により、市庁舎におけるフリーアドレス化に関する研究会を設置し、職員ワークショップの開催など、令和6年度のフリーアドレス制の導入・拡充に向けた調査・研究を行いました。

【財源内訳】

都 支 出 金	1,980,000円	諸 収 入	4,928,000円
一 般 財 源	22,135,098円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
21 戸籍等への氏名の振り仮名追加に向けた対応	13,668,000円	0円
＜社会保障・税番号制度関係費＞		
<p>令和5年6月9日に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」に基づき、戸籍、住民票、マイナンバーカード等の記載事項に氏名の振り仮名を追加し、公証化することにより、官民間問わず本人確認事項として振り仮名を利用できるようにシステム改修を行うこととなりました。</p> <p>令和5年度は、住民基本台帳システム及び戸籍附票システムへの振り仮名追加の改修を実施する予定でしたが、令和5年11月末に戸籍附票システムに旧氏等の記載などの追加要件が示され、年度内に改修が完了しないことから、繰越明許費を設定し、令和6年度に実施することとしました。</p> <p>〔繰越明許費繰越額〕</p> <p>令和6年度への繰越分</p> <p>社会保障・税番号制度関係費 13,668,000円</p>		
22 公共施設のマネジメント体制及び維持保全のあり方の調査・検討		
＜公共施設維持保全調査・検討事業費＞	12,000,000円	11,000,000円
<p>多くの公共施設が更新時期を迎えるなか、全庁的なマネジメントの体制や民間の技術、活力を活用した事業手法により、増加する施設の修繕や改修等を効率的・効果的に実施し、施設の適切な維持保全を図るための取組方針を検討しました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 都市整備部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針の策定＜10月＞⇒令和6年6月 ・民間の技術、活力を活用した公共施設の維持保全の仕組みづくりの確定＜3月＞⇒取組中 		
23 庁内レイアウト変更による執務環境の改善	8,116,350円	8,116,350円
＜市民センター管理運営費、市民センター改修事業費＞		
<p>執務室が狭あいとなっている本庁舎、第二庁舎のレイアウトを変更し、職員の執務環境の改善や窓口環境の確保を図りました。あわせて、業務の効率化と職員の執務環境の改善を図るため、庁内関係部署の連携により、令和6年度のフリーアドレス制の導入・拡充に向けた調査・研究を行いました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 総務部主要事業② 目標指標⇒達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎、第二庁舎内のレイアウト変更の完了＜11月＞⇒11月 ・フリーアドレス化に向けた検討⇒検討済 		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
24 地域コミュニティにおけるICT支援事業の拡充	5,140,000円	4,926,309円
＜市民組織活動助成費、市民協働センター管理関係費＞		
日常でのデジタル技術の活用など一人ひとりの実情に添った支援を行うため、NPO法人みたか市民協働ネットワーク、株式会社まちづくり三鷹、住民協議会と連携して、デジタル相談サロンの開催や市民デジタル相談員を養成し、地域コミュニティの活性化を推進しました。		
〔実績・内容〕		
デジタル相談サロンの開催		
参加者数 172名		
開催回数 35回		
市民デジタル相談員養成講座の開催		
参加者数 17名		
開催回数 2回		
市民デジタル相談員技術支援補助制度の実施		
補助対象 市民デジタル相談員によるデジタル技術指導に関する資格（スマホ・タブレットマスター等）の取得に係る経費		
補助金額 上限1万円（補助率1／2）		
補助件数 6件		
25 「コミュニティ創生基本方針」の策定	564,000円	87,099円
＜コミュニティ創生研究事業費＞		
令和4年3月に策定した「これからのコミュニティのあり方に関する基本的な考え方」を踏まえ、コミュニティ行政の新たな展開の方向性を示した「コミュニティ創生基本方針」を策定しました。策定に当たっては、令和5年7月の「市民参加でまちづくり協議会」の政策提案や令和6年3月に確定した「三鷹市基本構想」等との整合性を図るとともに、庁内関係部署や外部有識者との意見交換を実施しました。		
【各部の運営方針と目標 生活環境部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】		
コミュニティ創生基本方針の策定＜3月＞⇒3月		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

26 NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立15周年等記念事業等の実施

〈市民協働推進事業費〉 768,178円 768,178円

令和5年にNPO法人みたか市民協働ネットワーク設立15周年及び市民協働センター開設20周年を迎え、記念事業として講演会の開催や記念誌を発行するなど、三鷹の市民活動のこれからを考える機会としました。

〔実績・内容〕

・講演会

開催日 令和5年12月2日（土）

内容 基調講演『“協働”の次にくるもの～これからの中間支援のあり方を考える～』

参加者数 137人

・市民活動団体による発表

開催日 令和5年12月3日（日）

内容 地域で新しい取組をしている市内の市民活動団体6団体による活動の紹介、市民団体同士の交流会を実施

参加者数 77人

27 吉村昭書斎の整備

145,679,000円 131,702,360円

〈芸術文化施設管理関係費、芸術文化施設運営費、吉村昭書斎整備事業費〉

三鷹市ゆかりの文学者である故・吉村昭氏を顕彰するため、執筆活動を行っていた書斎を移築・再現するとともに、展示機能や地域の方が交流できる機能を有した吉村昭書斎の整備を行い、令和6年3月に開館しました。

整備に当たっては、森林環境譲与税や東京都の補助制度を活用して木製備品を導入するとともに、引き続きクラウドファンディングの実施等で寄付を募るなど、財源確保と施設の魅力発信を行いました。また、施設の開館に向けて、令和5年6月に「三鷹市吉村昭書斎条例」を制定するとともに、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を指定管理者に指定しました。

【各部の運営方針と目標 スポーツと文化部主要事業① 目標指標⇒達成状況】

- ・設置条例及び指定管理者の指定の議案提出＜6月＞⇒6月
- ・移築整備工事の完了＜12月＞⇒2月
- ・開館＜2月＞⇒3月

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔施設概要〕

所在地 井の頭三丁目3番17号
敷地面積 258.03㎡（書斎棟 45.38㎡、交流棟 64.26㎡）
展示内容 吉村昭氏の書斎建物の移築・再現、吉村昭氏や津村節子氏の作品
・執筆活動に関する資料 など
開館日 週6日（月曜日及び年末年始は休館日）
開館時間 午前10時から午後5時30分まで
入館料 100円（書斎棟のみ）

〔実績・内容〕

寄付総額 8,090,000円（35件）

〔関連する歳入〕

森林環境譲与税20,872,000円のうち1,476,750円

〔債務負担行為の内容〕

吉村昭書斎指定管理料
（令和6～7年度＜債務負担分＞）

【財源内訳】

使用料手数料	88,700円	都支出金	73,026,750円
寄附金	8,090,000円	一般財源	50,496,910円

■吉村昭書斎の外観（左）、交流棟の内観（右）



事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

28 神沢利子氏生誕100年記念事業の実施 706,000円 676,196円

<星と森と絵本の家管理運営関係費>

「みたか・子どもと絵本プロジェクト」の名誉顧問で児童文学作家の神沢利子氏が令和6年1月に100歳を迎えたことを記念して、図書館主催の記念事業に合わせて、スタンプラリーを開催しました。

[実績・内容]

開催日 令和6年1月18日(木)～2月4日(日)
 開催場所 星と森と絵本の家、市立図書館(5箇所)、井の頭コミュニティ・センター図書室、芸術文化センター
 ※獲得したスタンプの数に応じて、神沢利子氏の作品に登場するキャラクターの景品を配布しました。

参加人数 1,600人

[関連事業費]

教育費 神沢利子氏生誕100年記念事業の実施 5,287,499円(177ページ参照)

【財源内訳】

都支出金 124,000円 一般財源 552,196円

■配布したスタンプラリーの台紙、缶バッジ、ミニ巾着



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

29 自動通話録音機の設置促進 594,000円 577,500円

＜安全安心推進費＞

特殊詐欺などの犯罪被害防止を図るため、引き続き、おおむね65歳以上の希望者の方等へ自動通話録音機を貸与しました。

〔実績・内容〕

貸与対象 市内在住のおおむね65歳以上の高齢者が居住する世帯
 貸与台数 150台（公募 110台、地域包括支援センター 10台、警察署 30台）
 ※平成27年度からの累計貸出回数 1,670台

【財源内訳】

都 支 出 金	288,750円	一 般 財 源	288,750円
---------	----------	---------	----------

30 防犯カメラの設置及び維持管理等の促進 2,291,000円 1,406,764円

＜防犯設備整備事業費＞

犯罪の抑止と地域の防犯力向上を図るため、市の単独事業として、生活安全推進協議会の意見を聴きながら防犯カメラを設置しました。また、商店会や町会等の地域団体が連携して行う防犯カメラの保守等に対する支援を行うとともに、防犯装備品の整備に係る経費の一部補助を行い、地域団体による継続的な運用を支援しました。

〔実績・内容〕

- ・市による防犯カメラの独自設置台数
仙川遊歩道周辺地区 1台
- ・防犯装備品整備支援
整備内容 手旗
整備団体 高山小学校PTA

【財源内訳】

都 支 出 金	307,000円	一 般 財 源	1,099,764円
---------	----------	---------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

徴税費

1 住民税額試算・申告書作成支援サービスの導入 11,338,269円 8,069,908円

＜市民税賦課関係費（個人分）＞

オンラインで市民税・都民税の税額試算や、市民税・都民税申告書の作成ができるサービスを導入しました。窓口に来ることなく税額試算などが可能になり、市民サービスの向上と業務の効率化を図りました。

【各部の運営方針と目標 市民部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】

住民税額試算・申告書作成支援サービスの導入＜10月＞⇒10月

〔実績・内容〕

市民税・都民税額の試算	1,353件
市民税・都民税申告書の作成	61件

2 市税のクレジットカード決済等の導入 3,848,000円 3,847,800円

＜地方税電子申告・納税関係費＞

e L T A X（地方税共通納税システム）による電子納税の対象税目を拡充しました。また、市税の納付にクレジットカード決済等を導入し、納税者の利便性の向上と安定した市税収入の確保に努めました。

【各部の運営方針と目標 市民部主要事業② 目標指標⇒達成状況】

地方税共通納税システム（e L T A X）の対象4税目の追加＜4月＞⇒4月

〔実績・内容〕

- ・ e L T A Xによる電子納税の対象税目

拡充前	市民税・都民税（特別徴収、退職所得）、法人市民税、事業所税
追加	市民税・都民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税（償却資産を含む）、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税

・クレジットカード決済等の導入

納付書に印刷された二次元コードをスマートフォンやパソコン等で読み取ることで、クレジットカードやスマートフォン決済アプリによる市税の納付ができるようにしました。

実績 27,177件

戸籍住民基本台帳費

1 住民票等請求のWeb入力システムと郵送請求に係るクレジットカード決済の導入

＜住民基本台帳記録事務費等＞

2,773,000円

182,845円

「新しい窓口サービス」として、住民票（除票）の写しと市民税・都民税課税（非課税）証明書の請求について、来庁前にWebで申請書を作成できるサービスを開始しました。

また、郵便局で購入が必要な定額小為替による決済が必要だった証明書の郵送請求において、住民票（除票）の写しと戸籍の証明書の支払方法にクレジットカード決済を導入し、複数の支払方法を選択できるようにしました。

【各部の運営方針と目標 市民部主要事業① 目標指標⇒達成状況】

- ・事前のWeb入力による住民票等申請書作成支援サービスの導入＜10月＞⇒10月
- ・各種証明書の郵送請求手数料の支払いに係るクレジットカード決済の導入＜10月＞⇒12月（税証明書除く）

〔実績・内容〕

- ・申請書作成支援システムの導入

事前にインターネット上の専用フォームで必要事項を入力し、申請書を二次元コード化することで、窓口での申請書記入が不要となり、「書かない」「待たない」窓口を実現しました。導入に際しては、住民情報システムの事業者が提供する既存のシステムを活用して対応しました。

利用者数 1件

- ・郵送請求手数料のクレジットカード決済の導入

クレジットカード決済システムの導入により、請求の進捗を利用者がシステム上で確認できるようになりました。また、定額小為替を購入する際の手数料が不要になるなど利用者の利便性が向上しました。

利用者数 99件

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 自動交付機による証明書交付サービス終了への対応 29,029,125円 23,707,862円

＜証明書自動交付関係費＞

市内3箇所（本庁舎正面玄関、三鷹駅前市政窓口、三鷹台市政窓口）に計5台設置していた証明書自動交付機について、機器等の生産終了に伴い、全機の稼働を終了しました。サービス終了に先立ち、自動交付機を利用可能なすべての方に、個別通知を発送して周知を図る一方、マイナンバーカードを活用したコンビニ交付の普及を図るため、証明書発行手数料の金額を令和5年6月から令和7年3月まで100円引き下げ、「行かなくてよい」窓口サービスの活用促進に努めました。

【各部の運営方針と目標 市民部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】

- ・自動交付機の稼働終了＜12月＞⇒12月
- ・自動交付機の稼働終了に係る個別通知の発送＜5月＞⇒5月
- ・コンビニ交付手数料の時限的な引下げ＜6月＞⇒6月

〔実績・内容〕

個別通知数 109,784通
 コンビニ交付 79,446件（前年度比36,421件増）

【財源内訳】

使用料手数料 7,426,000円 一般財源 16,281,862円

3 マイナンバーカードの更なる普及促進 219,753,263円 183,786,630円

＜社会保障・税番号制度推進関係費＞

市役所やマイナンバーカードセンターに来庁して手続きをすることが難しい方でもマイナンバーカードが取得できるよう、多様な申請の機会と手厚いサポート体制を整えました。

また、マイナポイント事業について、国が申請期限を令和5年5月末から令和5年9月末に延長したことに伴い、マイナポイント申請支援業務の期限を令和5年9月末までに延長して対応しました。

【各部の運営方針と目標 市民部主要事業④ 目標指標⇒達成状況】

- ・申請時来庁方式の導入＜6月＞⇒4月
- ・出張申請サポート事業の実施 市内8～10箇所⇒8箇所

〔実績・内容〕

・申請時来庁方式の開始

カード申請時に本人確認を行うことで、受け取りのために来庁することなくカードを郵送で受け取ることができる「申請時来庁方式」を開始しました。

・出張申請サポート事業の実施

市役所やマイナンバーカードセンターから離れた場所において、申請時来庁方式を利用して申請の手続きをフォローする出張申請サポート事業を実施しました。

実施場所 コミュニティ・センター（大沢・牟礼・井口・井の頭・新川
中原・連雀）、ケアハウス弘陽園、国際基督教大学（計8回
開催）

・郵便局窓口での申請サポートの開始

市内郵便局で、無料写真撮影と申請書の作成をサポートする体制を整えました。

実施場所 市内郵便局（牟礼二・北野・上連雀・井口・大沢四）

実施時期 令和5年6月30日～令和6年3月31日（窓口営業日のみ）

【財源内訳】

国庫支出金 182,528,000円

一般財源 1,258,630円

■出張申請サポート事業の様子



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

選挙費

1 市議会議員及び市長選挙の執行 129,392,000円 101,848,012円

＜市議会議員及び市長選挙執行費＞

令和5年4月23日に選挙を執行しました。

[投票率]

- ・三鷹市議会議員選挙 48.34%
- ・三鷹市長選挙 48.32%

令和5年度に取り組んだ主な施設整備



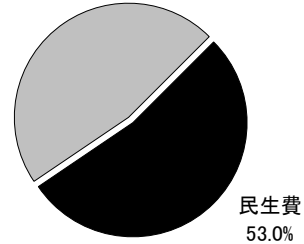
【総務管理費】

①吉村昭書齋

吉村昭書齋の整備

第3款 民生費

■一般会計に占める割合



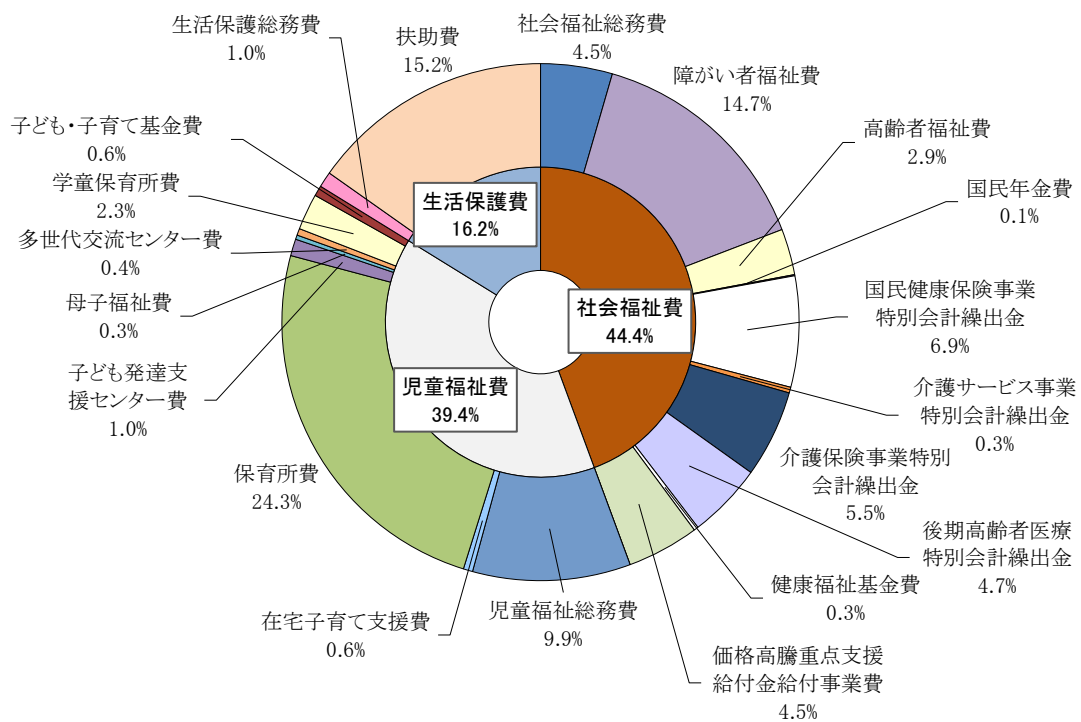
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	43,341,546	41,253,152	21,080,022	272,500	958,642	18,941,988	95.2%
令和4年度	42,115,981	39,444,783	20,273,388	47,100	996,265	18,128,030	93.7%
増△減	1,225,565	1,808,369	806,634	225,400	△37,623	813,958	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

社会福祉費

1 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展 13,695,000円 11,188,131円

＜地域ケアネットワーク推進事業費＞

住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、7箇所の地域ケアネットワークの活動などを引き続き支援しました。

〔実績・内容〕

- ・地域ケアネットワークの各種会議やサロンをはじめとする地域向け事業を引き続き実施しました。また、その中で会議や講座の内容によって、オンラインツールを活用しました。
- ・地域福祉コーディネーターと連携し、地域ケアネットワークの会議にて情報共有等を行い、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。
- ・三鷹駅周辺・地域ケアネットワークの設立10周年記念事業として、式典を令和6年3月17日（日）に開催し、記念誌や記念品を作成しました。

【財源内訳】

都 支 出 金	5,593,000円	一 般 財 源	5,595,131円
---------	------------	---------	------------

2 災害時避難行動要支援者の個別避難計画作成の推進 8,650,380円 5,777,052円

＜災害時避難行動要支援者支援事業費＞

災害対策基本法に基づき、災害時に支援が必要な避難行動要支援者の名簿情報を更新するとともに、仙川・神田川流域（浸水エリア）、牟礼・井の頭地区の一部（土砂災害エリア）を対象とした「個別避難計画」を作成しました。

〔実績・内容〕

対象者	290人
作成者	45人
作成不要者	203人（施設入所、長期入院、死亡など）
その他	42人（未返送、作成を希望しない）

【財源内訳】

都 支 出 金	99,000円	一 般 財 源	5,678,052円
---------	---------	---------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 地域で共生する社会の実現に向けた取組の推進 35,253,000円 33,458,139円

＜地域福祉コーディネーターによる共助支援事業費＞

社会的孤立など制度の狭間にあつて支援が受けられない方などが安心して暮らせるように、地域福祉コーディネーターを増員し、共助の基盤づくりを含めた包括的な支援体制を推進しました。

【各部の運営方針と目標 健康福祉部主要事業② 目標指標⇒達成状況】

- ・地域福祉コーディネーターの増員＜4月及び1月に1人＞⇒4月及び1月に1人
- ・地域福祉コーディネーター配置地区での相談サロンの実施＜毎月＞⇒毎月
- ・重層的支援体制推進会議の開催 4回⇒5回

〔実績・内容〕

- ・地域福祉コーディネーターの増員

令和2年度に大沢地区に1人、3年度に連雀地区に1人配置した地域福祉コーディネーターについて、5年度は東部地区と駅周辺地区に1人ずつ増員し、計4人のうち3人が2地区を兼務することで市内全域（7地区）からの相談に対応しました。

- ・相談サロンの開催

相談機会を拡充するため、地域福祉コーディネーターを配置している地区のコミュニティ・センター等を会場として、相談会を毎月1回開催しました。

相談件数 延べ38件

- ・重層的支援体制推進会議の開催

支援に関わる機関（市、社会福祉協議会、地域包括支援センター等）で、地域福祉コーディネーターの活動内容等について、情報共有を図るとともに、ワークショップを開催し、関係職員の意識・スキルの向上に取り組みました。また、ケース会議により個別のケースの検証等を行いました。

【財源内訳】

国庫支出金	23,371,000円	一般財源	10,087,139円
-------	-------------	------	-------------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 訪問理美容サービス事業の拡充 2,391,000円 1,973,380円

〈訪問理美容サービス事業費〉

身体機能の低下等により、理美容店に行くことが困難な在宅高齢者を対象に実施している訪問理美容サービスについて、介護保険の第2号被保険者（40歳以上65歳未満）と重度心身障害者手当受給者（学齢児以上）を新たに対象とし、高齢者及び障がい者等の保健衛生と在宅福祉の向上を図りました。

〔実績・内容〕

	現行	拡充後
サービス内容	身体機能の低下等により自ら理美容店に行くことのできない方に対して協力店の理美容事業者が自宅に訪問し、調髪を実施	
利用回数	1年度につき1人4枚まで訪問理美容券を交付	
対象者	要介護3～5の在宅高齢者（65歳以上）	(1) 在宅の要介護3～5の方（第2号被保険者を含む。） (2) 重度心身障害者手当受給者（学齢児以上）のうち、身体障害者手帳下肢1・2級または体幹1・2級、常時寝たきりで理美容店でサービスを受けることが著しく困難である方
利用料金	1回あたり500円 (理美容師謝礼5,000円の1割)	1回あたり600円 (理美容師謝礼6,000円の1割)
拡充時期	令和5年4月（重度心身障害者手当受給者については10月開始）	

利用件数 308件（高齢307件、障がい1件）

【財源内訳】

諸 収 入 168,600円 一 般 財 源 1,804,780円

5 介護・障がい福祉サービス事業所への食材費・光熱費等の高騰に伴う支援 207,924,750円 202,001,269円

〈介護・障がい福祉サービス等事業所物価高騰対策支援事業費〉

物価高騰に直面している介護・障がい福祉サービス事業所に対して、令和4年度に引き続き食材費、光熱費、ガソリン代の高騰分を支援することにより、利用者負担への転嫁を回避するとともに、事業者負担の軽減を図りました。

〔実績・内容〕

対象施設 市内介護及び障がい福祉サービス事業所
 対象期間 令和5年4月～令和6年3月
 給付額 令和3年度の実績等をもとに、物価高騰の影響（食材費8%、光熱費・ガソリン代10%）を見込んで設定した単価に入所者数等を乗じた額
 実績 介護：上半期109法人、下半期106法人
 障がい福祉：上半期35法人、下半期35法人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	188,389,000円	一般財源	13,612,269円
-------	--------------	------	-------------

6 精神障がい者の移動手段の拡充 36,102,000円 30,606,484円

＜福祉タクシー助成事業費＞

電車、バス等の公共交通機関の利用が困難な障がい者の移動支援を行うため実施している、タクシー料金の一部助成について、新たに精神障がい者を対象に加え、外出による社会参加の機会の拡充を図りました。

〔実績・内容〕

	現行	拡充後
対象者	(1) 身体障害者手帳：下肢・体幹機能障がい1～3級、視覚障がい1級、内部障がい1級 (2) 愛の手帳：1度	(1) 身体障害者手帳：下肢・体幹機能障がい1～3級、視覚障がい1級、内部障がい1級 (2) 愛の手帳：1度 (3) <u>精神障害者保健福祉手帳：1級（拡充）</u>
所得制限	市民税所得割額：235,000円以下	
利用上限額 (年間最大)	慢性腎不全：48,000円、慢性腎不全以外：30,000円、 燃料費助成併給：12,000円	

登録人数 38人（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）

7 在宅人工呼吸器使用者への非常用電源装置等の給付 420,000円 72,600円

＜非常用電源装置等給付事業費＞

災害等による停電時において人工呼吸器への電力供給を確保するため、在宅で人工呼吸器を使用する方に対し、非常用電源装置等の購入費用を助成しました。

〔実績・内容〕

対象者	災害時人工呼吸器個別支援計画を作成している人工呼吸器使用者 ※東京都の補助制度の対象となる難病患者や人工呼吸器を常時必要としない夜間のみ使用者を除く。	
助成金額	自家発電装置	1台当たり212,000円まで
	蓄電池	1台当たり104,000円まで
実績	蓄電池	1件（給付額72,600円）

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 三鷹市商店会連合会等と連携したアール・ブリュット作品の展示

〈アール・ブリュット事業費〉 691,000円 690,600円

令和4年度に引き続き、三鷹市商店会連合会や三鷹商工会と連携して、障がい者が制作した芸術作品を展示する「アール・ブリュットみたか2023 オータム」を開催し、商店街のにぎわい創出とともに、障がい者の芸術文化振興及び共生社会の実現に向けた取組を推進しました。

〔実績・内容〕

実施期間 令和5年11月22日（水）～26日（日）
 開催場所 メイン会場 三鷹市美術ギャラリー
 サブ会場 桜井浜江記念市民ギャラリー
 星と風のカフェ

来場者数 1,028名

〔関連事業費〕

商工費 商店会の販売促進と活性化に向けた支援の実施 1,842,776円
 (135ページ参照)

9 北野ハピネスセンターでの入浴サービスの実施 87,083,000円 80,928,743円

〈北野ハピネスセンター管理運営費〉

三鷹市北野ハピネスセンターの機械式浴槽を活用し、自宅での入浴が困難な障がい者への入浴サービスを実施し、入浴介助における家族等の負担軽減を図りました。

〔実績・内容〕

対象者 自宅での入浴が困難な重症心身障がい者
 開始時期 令和5年7月
 利用料金 1回500円（減免制度あり）
 利用者 延べ1人
 拡充経費 非常勤職員人件費等（入浴支援員2人） 9,681円

【財源内訳】

都支出金	164,000円	諸収入	13,814円
一般財源	80,750,929円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 障がい者施設の整備への支援 15,210,000円 15,210,000円

＜障がい者施設整備助成事業費＞

令和6年12月に開設予定の障がい者福祉施設の整備に当たり、国庫補助が不採択となったことを受け、東京都と連携して、国庫補助相当分を市内社会福祉法人に対して助成しました。

〔施設概要〕

設置及び経営主体 社会福祉法人巣立ち会
 整備予定地 野崎一丁目20番3号
 スケジュール 令和5年12月着工
 令和6年12月事業開始

事業所名	整備区分	サービス種別	定員
夢幻	新設	共同生活援助（日中サービス支援型）	10人
		短期入所	1人
巣立ちホーム	移転	共同生活援助（介護サービス包括型）	10人（6人増）
巣立ち工房	移転	就労継続支援B型作業所	30人（10人増）

〔債務負担行為の内容〕

障がい者共同生活援助等事業所MUGEN助成事業 15,210,000円
 （令和6年度＜債務負担分＞35,490,000円 全体事業費50,700,000円）

11 調布基地跡地福祉施設の整備等に向けた取組 116,000円 5,316円

＜調布基地跡地福祉施設整備事業費＞

調布基地跡地に三鷹市、府中市、調布市の三市共同で設置することとしている障がい者福祉施設について、令和4年度に障がい福祉サービス事業所の整備・運営を行う事業者を公募し、令和5年4月に事業者が決定したため、令和5年10月に決定事業者と三市で整備及び運営の基本的な事項についての覚書を結び、令和7年度の開設に向けた協議を行いました。

〔施設概要〕

対象	サービス種別	定員
重度知的障がい者 （強度行動障がい）	生活介護	20人
	短期入所	9人
医療的ケアが必要な方や 重症心身障がい者	生活介護	20人
	短期入所	6人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<p>12 「第三期三鷹市障がい者（児）計画」の策定</p> <p>4,070,000円</p> <p>4,070,000円</p> <p>＜障がい者（児）計画策定関係費＞</p> <p>令和4年度に実施した障がい者等の生活と福祉実態調査を踏まえ、「第三期三鷹市障がい者（児）計画」を策定しました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 健康福祉部主要事業④ 目標指標⇒達成状況】</p> <p>計画の策定＜3月＞⇒3月</p> <p>[計画の内容]</p> <p>計画期間 令和6～9年度</p> <p>概要 障害者基本法に基づく「障がい者計画」、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「障がい福祉計画」、児童福祉法に基づく「障がい児福祉計画」を一体化し、障がい者施策に関する基本的な方向性と具体的な施策、サービス必要量の見込みとその確保方策などをまとめた計画として定めました。</p>		
<p>13 三鷹市福祉Laboどんぐり山の開設</p> <p>622,969,381円</p> <p>596,767,952円</p> <p>＜旧どんぐり山施設改修事業費、福祉Laboどんぐり山管理運営費＞</p> <p>在宅医療・介護の研究拠点、介護人材の育成拠点として整備を進めてきた三鷹市福祉Laboどんぐり山を開設し、三鷹市社会福祉事業団を指定管理者とし、令和5年12月より運営を開始しました。</p> <p>【各部の運営方針と目標 健康福祉部主要事業① 目標指標⇒達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ事業として企業との協働プロジェクト 5件⇒3件 ・プレ事業として出前研修等の各種研修実施 10回⇒22回 ・施設開設＜12月＞⇒12月 <p>[実績・内容]</p> <p>(1) オープニングイベントの開催</p> <p>三鷹市福祉Laboどんぐり山のオープンを記念して、式典を執り行うとともに協力企業・団体による最新機器等の体験会及び施設見学を実施しました。</p> <p>実施日 令和5年11月25日（土）</p> <p>(2) 各種事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護研究センター <ul style="list-style-type: none"> eスポーツを活用した高齢者の生きがづくり事業 me di VRカグラを活用したリハビリテーション事業 I C Tを活用した高齢者の見守り・フレイル予防の普及・推進 など 		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・介護人材育成センター
 - 市民向け研修の実施（VR認知症体験イベント、介護食調理実習など）
実績 21回、延べ494人参加
 - 専門職向け研修の実施（介護職員初任者研修、喀痰吸引研修など）
実績 9回、延べ144人参加
- ・生活リハビリセンター
 - 居宅に近い環境の中で日常生活動作によるリハビリを通して、在宅生活における課題解決や質の向上を目指しました。
 - 利用者 22人
 - 利用率 77.9%

【財源内訳】

使用料手数料	689,900円	都支出金	178,973,000円
諸収入	267,155円	市債	272,500,000円
一般財源	144,337,897円		

■三鷹市福祉Laboどんぐり山の生活リハビリセンター



14 認知症高齢者グループホームの整備 123,702,000円 0円

＜認知症高齢者グループホーム助成事業費＞

令和6年3月の開設に向けて準備を進めてきた西部・大沢地区の認知症高齢者グループホームについて、事業者決定後、事業者から辞退の申し入れがあったため、開設時期を令和8年度まで延期することとしました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
15 高齢者施設等の感染症対策設備の整備支援	3,500,000円	3,500,000円
＜高齢者施設等感染症対策設備整備推進事業費＞		
<p>高齢者施設等において新型コロナウイルスを含む様々な感染症の拡大防止を図るため、令和4年度に引き続き、東京都の補助制度を活用して、市内地域密着型施設等における感染症対策設備の整備を支援しました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <p>対象施設 定員29人以下の市内地域密着型施設等</p> <p>助成要件 簡易陰圧装置の設置、ゾーニング環境等の整備、多床室の個室化のいずれかを実施</p> <p>助成実績 認知症高齢者グループホーム 1施設（ゾーニング環境等の整備（家族面会室の設置））</p> <p>【財源内訳】</p> <p>都 支 出 金 3,500,000円</p>		
16 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の給付	1,924,396,000円	1,778,348,110円
＜電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費＞		
<p>令和5年3月の国の物価高騰に向けた追加策に基づき、電力・ガス・食料品等の価格高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、国の地方創生臨時交付金を活用して、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金を給付しました。また、令和5年11月に国が決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、追加の給付を行いました。なお、申請期間が令和6年4月までとなっていることから、繰越明許費を設定しました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <p>・1回目</p> <p>給付対象者 (1) 基準日（令和5年6月1日）において、三鷹市に住民登録があり、世帯全員の令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯</p> <p>(2) 申請日において、三鷹市に住民登録があり、予期せず令和5年1月から10月までの収入が減少し、(1)の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>給付額 1世帯当たり3万円</p> <p>申請期間 令和5年7月25日～10月31日</p> <p>給付世帯数 (1) 16,938世帯</p> <p>(2) 68世帯</p> <p>申請率 (1) 85.3%</p>		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・ 2回目

- 給付対象者 (1) 基準日（令和5年12月1日）において、三鷹市に住民登録があり、世帯全員の令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯
(2) 申請日において、三鷹市に住民登録があり、予期せず令和5年1月から12月までの収入が減少し、(1)の世帯と同様の事情にあると認められる世帯

給付額 1世帯当たり7万円

申請期間 令和6年1月22日～4月30日

給付世帯数 (1) 17,275世帯
(2) 102世帯

申請率 (1) 85.7%

〔繰越明許費繰越額〕

令和6年度への繰越分

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費 68,629,000円

【財源内訳】

国庫支出金	1,778,347,000円	一般財源	1,110円
-------	----------------	------	--------

17 低所得者支援給付金の給付 311,488,000円 80,624,905円

〈低所得者支援給付金給付事業費〉

令和5年11月に国が決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、物価高から国民生活を守るため、住民税均等割のみ課税世帯等に対し、給付金を給付することとし、令和5年度は口座情報を把握している住民税非課税世帯に対し、こども加算について申請不要なプッシュ型で給付しました。なお、その他の対象者については、申請期間が令和6年5月までとなっていることから、繰越明許費を設定しました。

事業名 < 事項名 > 及び事業概要	予算現額	決算額
--------------------	------	-----

[実績・内容]

- 給付対象者 (1) 基準日（令和5年12月1日）において、三鷹市に住民登録があり、令和5年度分の住民税均等割のみ課税世帯
 ※住民税課税者の扶養親族等のみからなる世帯は対象外
 (2) 令和5年度における住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯において、扶養されている18歳以下の児童（こども加算）
- 給付額 (1) 1世帯当たり10万円
 (2) 児童1人当たり5万円
- 申請期間 令和6年3月22日～5月31日
- 給付世帯数 (1) 0世帯
 (2) 937世帯（1,479人）

[繰越明許費繰越額]

令和6年度への繰越分

低所得者支援給付金給付事業費 230,862,000円

【財源内訳】

国庫支出金	80,624,000円	一般財源	905円
-------	-------------	------	------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

児童福祉費

1 子ども・子育て支援事業計画の改定に向けたニーズ調査等の実施

＜子ども・子育て会議関係費＞ 8,761,000円 8,679,594円

令和6年度末で計画期間が終了する「第2期子ども・子育て支援事業計画」の改定に向けた基礎資料として活用するため、保護者の子育て支援に対するニーズや子育てに関する生活実態を調査しました。なお、令和6年度にこの調査結果を踏まえたうえで、「子ども・子育て支援事業計画」等を内包した「三鷹市子ども総合計画（仮称）」を策定します。

〔実績・内容〕

・子育て支援ニーズ調査

対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前児童の保護者（無作為抽出） 2,000世帯（回収率 42.1%） ・市立小学校2・4年生の保護者 3,135世帯（回収率 80.0%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> [就学前児童の保護者] 家族構成、子どもの預け先、保護者の就労状況、教育・保育事業の利用状況、父親の育児休業制度の利用など [市立小学校2・4年生の保護者] 放課後の過ごし方、高学年の学童保育所の利用意向、地域子どもクラブの利用意向など

・子育てに関する生活実態調査（子どもの生活実態調査）

対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校5年生・中学校2年生の子ども 2,700世帯（回収率 81.6%） ・市立小学校5年生・中学校2年生の保護者 2,700世帯（回収率 69.4%） ・児童扶養手当受給世帯 878世帯（回収率 36.4%） ・子育て支援関係機関 約200機関
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> [小学生・中学生] 普段の生活、学校・勉強、将来の夢、進路、不登校、悩みごと、新型コロナウイルス感染症の影響、自己肯定感、学校や大人からの支援希望など [保護者、児童扶養手当受給世帯] 進学期待、保護者の食事状況、子どもに関する消費、子どもとの体験活動、健康状態、保護者の嗜好・依存、新型コロナウイルス感染症の影響、居住形態など [子育て支援関係機関] 子どもの虐待防止や貧困対策に係る取組内容や課題認識など

2 義務教育就学児の医療費助成の拡充 13,816,000円 13,375,750円

＜義務教育就学児医療費助成事業費＞

子育てしやすい環境の一層の充実と子育て家庭の更なる経済的負担の軽減を図るため、義務教育就学児の医療費助成の内容を拡充しました。

【各部の運営方針と目標 子ども政策部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】

義務教育就学児の医療費助成の通院時一部負担金（1回上限200円）を撤廃

＜10月＞⇒10月

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

[助成内容]

		拡充前	拡充後
助成の 範囲	通院	医療保険の自己負担額から一部負担金（1回200円上限）を除いた額	医療保険の自己負担額全額（令和5年10月～）
	入院	医療保険の自己負担額全額	

※所得制限は拡充前、拡充後ともになし

3 高校生等の医療費助成の拡充 3,443,200円 3,002,450円

〈高校生等医療費助成事業費〉

令和4年10月に開始した高校生等（16～18歳）の医療費助成について、令和4年度は、医療機関で保険診療自己負担額（3割）を支払った後に、市の窓口において助成の申請を行う現金給付（償還払い）により実施していましたが、令和5年4月から義務教育就学児と同様に、医療証による現物給付を開始しました。また、10月からは通院時の一部負担金を撤廃するなど、子育てしやすい環境の一層の充実と子育て家庭の更なる経済的負担の軽減を図りました。

【各部の運営方針と目標 子ども政策部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】

高校生等の医療費助成の通院時一部負担金（1回上限200円）を撤廃 <10月>⇒10月

[助成内容]

		拡充前	拡充後
助成の 範囲	通院	医療保険の自己負担額から一部負担金（1回200円上限）を除いた額	医療保険の自己負担額全額（令和5年10月～）
	入院	医療保険の自己負担額全額	
助成方法		現金給付（市窓口での償還払い）	医療証による現物給付（令和5年4月～）

※所得制限は拡充前、拡充後ともになし

4 保育施設及び幼稚園等でのPCR検査の支援 1,536,000円 0円

〈PCR検査助成事業費〉

令和4年度に引き続き、保育施設及び幼稚園等において、子どもが新型コロナウイルスに感染した場合、濃厚接触者に該当していなくても感染の不安を感じている子どもや職員等に対して、PCR検査費用の助成を令和5年5月まで実施しましたが、利用実績はありませんでした。

[関連事業費]

教育費 市立小・中学校でのPCR検査の支援 0円（161ページ参照）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 保育施設等への食材費・光熱費等の高騰に伴う支援 39,086,000円 38,924,500円

＜保育施設等物価高騰対策支援事業費＞

原油価格・物価高騰に直面している保育施設等に対して、国・東京都の補助金を活用して、令和4年度に引き続き、食材費、光熱費、ガソリン代の高騰分を支援することにより、利用者負担への転嫁を回避し、事業者の負担軽減を図りました。

〔実績・内容〕

対象施設	認可保育所、地域型保育施設、認証保育所、企業主導型保育施設、幼稚園
給付額	各施設の令和3年度実績をもとに算出した単価に、物価高騰の影響（食材費8%、光熱費・ガソリン代10%）を乗じた額 ※公立保育園は、別途食材費を増額することなどにより対応
施設数	81施設

【財源内訳】

国庫支出金	10,437,000円	都支出金	27,732,701円
一般財源	754,799円		

6 子育て世帯生活支援特別給付金の給付 177,028,000円 152,425,930円

＜子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費＞

食費等の物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得の子育て世帯を支援するため、国の補助事業として「子育て世帯生活支援特別給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

対象児童	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童（障がい児の場合、20歳未満）
給付対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得のひとり親世帯 令和5年3月分の児童扶養手当受給者 ※公的年金等の受給により児童扶養手当の支給を受けていない世帯及び家計急変世帯（直近で収入が減少し、児童扶養手当の対象となる水準に下がった方）を含む。 ・その他低所得の子育て世帯 令和4年度の子育て世帯生活支援特別給付金の受給者（令和4年度住民税均等割が非課税相当の方） ※家計急変世帯（直近で収入が減少し、住民税非課税相当の水準に下がった方）を含む。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

給付額	児童1人につき5万円		
初回給付日	令和5年5月17日(水)		
給付実績	2,993人	低所得のひとり親世帯	1,125人
		その他低所得の子育て世帯	1,868人

【財源内訳】

国庫支出金	152,424,000円	一般財源	1,930円
-------	--------------	------	--------

7 ヤングケアラー支援に向けた取組 481,618円 481,618円

＜子ども家庭支援センターリボン管理運営費＞

支援を要するヤングケアラーとその家族を早期に発見し適切な支援につなげるため、市や関係団体の職員向けに研修を行い、庁内における理解促進と連携体制の明確化を図るとともに、地域に向け理解や支援の必要性を伝えていくための中核となる職員の育成に取り組みました。また、アセスメントシートや啓発用リーフレットを活用して支援が必要なヤングケアラーを子ども家庭支援ネットワークによる支援につなげる体制づくりを行いました。

【各部の運営方針と目標 子ども政策部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】

- ・地域で気づき支援できる体制を整えるためヤングケアラーの周知を図る研修の実施（7月～2月）⇒研修の実施

※職員向け、ネットワーク会議実務者研修 2回（10月、11月）

団体向け研修（学童保育所、東・西多世代交流センター、民生・児童委員、地域包括支援センター、地域ケアネットワーク）

6回（9月～3月）

市民向け講演会 1回（11月）

- ・ヤングケアラーを支援していくための中核となる職員の育成 7人

⇒3人

- ・庁内連携を図るための重層的支援推進会議を活用した連携の強化 4回

⇒2回

- ・アセスメントシート等を活用した子ども家庭支援ネットワークによる支援

⇒支援の実施

【財源内訳】

国庫支出金	321,000円	一般財源	160,618円
-------	----------	------	----------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 病児保育事業の利用促進 29,307,000円 27,697,333円

〈病児保育事業費〉

病気の際に自宅等での保育が困難な児童の保育を行う病児保育施設の利用について、オンライン予約システムを導入し、更なる利便性の向上を図りました。

〔実績・内容〕

対象者	市内に住所がある生後4か月～小学校就学前の以下に該当する児童 ・病気回復期にあるが保育園などの集団保育を受けられない児童 ・病気回復期に至らないが急変が認められない児童
実施施設	・あきやまルーム（下連雀三丁目・定員4人） ・ポピンズルーム杏林（新川四丁目・定員4人）
利用者数	833人（前年度比156人増）
利用料金	利用時間にかかわらず1日2,000円
利用方法	オンライン予約システムで事前に利用登録後、利用希望日の予約を行い利用（24時間予約可）
導入時期	令和5年10月

【財源内訳】

国庫支出金	8,523,000円	都支出金	13,602,000円
一般財源	5,572,333円		

9 公立保育園におけるICTシステムの導入 9,339,000円 9,227,916円

〈公設公営保育園運営事業費、公設民営保育園運営事業費〉

保育園におけるDXの推進に向けた取組として、公立保育園全13園にタブレット端末を活用したICTシステムを導入し、保育士の業務の効率化・簡素化を進めました。また、アプリを活用して園からの通知確認のほか、欠席・遅刻連絡、保護者会の日程調整等を行うことができるようになり、保護者の利便性向上を図りました。

〔債務負担行為の内容〕

保育園ICTシステム等利用料	6,982,266円
（令和6～8年度<債務負担分>27,881,280円 全体事業費34,863,546円）	

【財源内訳】

国庫支出金	3,780,000円	都支出金	2,974,000円
一般財源	2,473,916円		

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 保育園における給食用食材の放射性物質検査の実施 228,000円 215,385円

<公設公営保育園運営事業費>

児童や保護者のより一層の安心のため、公立保育園における給食用食材の放射性物質検査を実施し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。

[実績・内容]

実施日 令和5年7月3日(月)、4日(火)、6日(木)、10日(月)

対象園 公立保育園 13園(各園1回)

検査品目 園児に提供した給食(一食まるごと検査)

11 森林環境譲与税を活用した公共施設木製備品導入プロジェクトの推進

<地域型保育給付関係費> 2,800,000円 1,117,000円

「公共施設木製備品導入プロジェクト」を推進するため、令和元年度から譲与されている森林環境譲与税を活用しながら、市内の保育施設等へ木製備品を導入しています。令和5年度は、「三鷹市公共建築物等における木材利用推進方針」に基づき、地域型保育施設4園で木製玩具・椅子・机などを導入しました。

[関連する歳入]

森林環境譲与税20,872,000円のうち1,117,000円

[関連事業費]

教育費 森林環境譲与税を活用した公共施設木製備品導入プロジェクトの推進
10,735,000円(169ページ参照)

■木製備品の例 木製玩具(左) / 椅子(右)



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 保育所等を利用する多子世帯の経済的負担軽減の取組 17,239,699円 17,239,699円
 ＜認可外保育施設利用助成事業費、ベビーシッター利用支援事業費、保育所等利用多子世帯負担軽減事業費＞

令和5年10月に拡充された東京都の補助制度を活用し、第2子の保育料を無償化しました。保護者の経済的な負担の一層の軽減を図るため、認可外保育施設やベビーシッター利用支援事業の利用者に対して拡充相当分の利用料を助成し、地域型保育施設や認定こども園については、減額された保育料相当分を施設事業者へ助成しました。

〔実績・内容〕

拡充内容 市民税課税世帯で第2子以降が0～2歳の場合について、半額とされていた第2子の保育料を無償化
 ※第3子以降は従前より全額無償となっており、3～5歳児及び市民税非課税世帯の0～2歳児の保育料についても、既に全額無償化されている。

対象児童（延べ人数）	認可外保育施設	6,268人
	ベビーシッター利用支援事業	30人
	地域型保育施設	108人
	認定こども園	30人

※認可保育園の対象児童（延べ人数） 3,880人（歳出はなし）

【財源内訳】

都支出金	16,785,000円	一般財源	454,699円
------	-------------	------	----------

13 保育施設における医療的ケア児支援の拡充 33,730,000円 22,608,064円
 ＜医療的ケア児支援事業費＞

医療的ケア児の受け入れについて、ケアの種類を拡充し、新たにたんの吸引、酸素吸入を受け入れ対象に追加するとともに、保育園の受け入れ施設を拡充し、医療的ケア児の地域生活を支援しました。なお、令和6年度以降はケアの種類を限定せず、対象児童が保育園での集団保育に適しているか個別に判断した上での受け入れを行っています。

【各部の運営方針と目標 子ども政策部主要事業④ 目標指標⇒達成状況】

医療的ケア児の受け入れ人数 1人増（受け入れ人数総計5人）
 ⇒1人増（受け入れ人数総計5人）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

対象者 集団生活が可能な医療的ケアを必要とする児童
 ※経管栄養、導尿、インスリン注射、たん吸引、酸素吸入
 実施施設 (公私連携) 三鷹南浦西保育園、三鷹赤とんぼ保育園
 (公設公営) あげぼの保育園、中原保育園(新規)、
 野崎保育園(新規)

【財源内訳】

都 支 出 金	18,676,000円	一 般 財 源	3,932,064円
---------	-------------	---------	------------

14 認証保育所の認可移行に向けた取組 11,198,000円 11,198,000円

〈認証保育所認可化移行支援事業費〉

市内の認証保育所のうち、認可保育園への移行を希望する2園について必要な手続き等の支援を行い、令和5年度に運営を開始しました。なお、アトム保育園については、認可保育園の設置基準を満たすために必要な工事費の一部について補助しました。

〔施設概要〕

ペガサス保育園三鷹駅前

所在地 下連雀三丁目

定 員	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	8人	10人	10人	10人	10人	48人

※認可保育園への移行に伴い定員は8人増

開設時期 令和5年4月

アトム保育園

所在地 上連雀二丁目

定 員	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	5人	5人	5人	5人	5人	25人

開設時期 令和5年8月

【財源内訳】

国 庫 支 出 金	7,465,000円	一 般 財 源	3,733,000円
-----------	------------	---------	------------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

15 保育施設等における安全対策への支援 89,069,000円 67,056,426円

<保育施設等安全対策事業費>

送迎バス内の園児置き去り死亡事案を契機として設けられた国及び東京都の補助制度を活用し、保育施設等の送迎用車両への安全装置の設置に対する支援とともに園内・園外活動時の置き去り、午睡時の事故防止等に係る対策の実施と支援を行いました。

[実績・内容]

・送迎用車両

対象施設	認可外保育施設（バスを保有）
内 容	車内置き去り防止センサーの設置 等
施設数	4施設

・事故防止対策

対象施設	認可保育所、地域型保育施設、認証保育所、認可外保育施設
内 容	飛び出し防止柵の設置、ベビーセンサーの設置 等
施設数	53施設

[関連事業費]

教育費 保育施設等における安全対策への支援

11,339,940円（169ページ参照）

【財源内訳】

国庫支出金	4,134,316円	都支出金	61,425,000円
一般財源	1,497,110円		

16 子ども発達支援センター送迎用巡回車両の増便 15,576,000円 15,576,000円

<児童発達支援事業費>

子ども発達支援センターくるみ幼稚園の送迎用巡回車両について、台数を1台から2台に増便し運行ルートに分けることにより、長時間の乗車を解消することで利用者の心身の負担を軽減するとともに、乗車定員の増加により雨天時等の突発的な利用にも広く対応することで利便性の向上を図りました。

[実績・内容]

定 員	12組24人（2台の合計）
乗車時間	最大30分（約45分の短縮）

【財源内訳】

諸 収 入	15,576,000円
-------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

17 多世代交流パートナー等との協働による子ども・若者支援の推進

1,866,000円 1,836,675円

＜東多世代交流センター中高生・若者交流事業費、西多世代交流センター中高生・若者交流事業費＞

次代を担うすべての子ども・若者が健全に成長し活躍できる地域社会を築くため、多世代交流パートナー等をはじめとした地域人財との協働により、子ども・若者を対象としたイベントを開催するなど、若者支援事業を拡充しました。また、支援者向けの講座やワークショップを開催し、支援者間のつながりを築くことで、庁内や地域との連携強化に向けた取組を進めました。

〔実績・内容〕

- ・地域人財を活用した居場所機能の充実

多世代交流パートナー等をはじめとした地域人財との協働による中高生・若者を対象としたイベントを開催しました。

(東)「おむすびの日」(軽食提供)、「真夏のユース」(居場所づくり)他
計25回

(西)「ユウラボ」(学習支援、軽食提供)、「ユースタイムプラス」(居場所づくり)他
計80回

- ・支援者向け講座・ワークショップの開催

現代の若者が抱える悩みや課題等を学び、必要な支援について理解を深めるため、学識経験者等を講師に迎え、職員、多世代交流パートナー、支援団体スタッフ、市民などを対象に支援者向けの講座・ワークショップを開催

(東西合計8回)しました。

18 保育園及び学童保育所待機児童ゼロの継続に向けた取組 28,084,000円 26,056,151円

保育園については、令和4年度に引き続き、待機児童ゼロを継続しました。

あわせて、学童保育所についても、定員拡充を図り、待機児童ゼロを継続することにより、子育てしやすいまちづくりを推進しました。

【各部の運営方針と目標 子ども政策部主要事業② 目標指標⇒達成状況】

保育園待機児童ゼロの継続、学童保育所待機児童ゼロの継続

⇒待機児童ゼロの継続

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- (1) 新たな学童保育所分室の運営 27,284,000円 25,512,462円
 ＜学童保育所管理関係費＞

学童保育所における待機児童ゼロの継続に向けて、新たに学童保育所分室2箇所の運営を令和5年4月から開始しました。

〔施設概要〕

施設	所在地	定員
大沢台小学童保育所分室	大沢二丁目	30人
北野小学童保育所分室	北野三丁目	40人
合計		70人

【財源内訳】

使用料手数料	3,969,000円	国庫支出金	4,860,000円
都支出金	14,195,000円	一般財源	2,488,462円

- (2) 学童保育所の受入拡充 800,000円 543,689円
 ＜一小・北野小学童保育所整備事業費＞

学童保育所における待機児童ゼロの継続に向け、小学校の教室等を活用することで、令和6年4月から受入児童数を拡充しました。

〔実績・内容〕

- ・一小学童保育所

下校時間が早い1年生の教室等を、登所児童数の多い時に利用することで受入児童数を拡充しました。

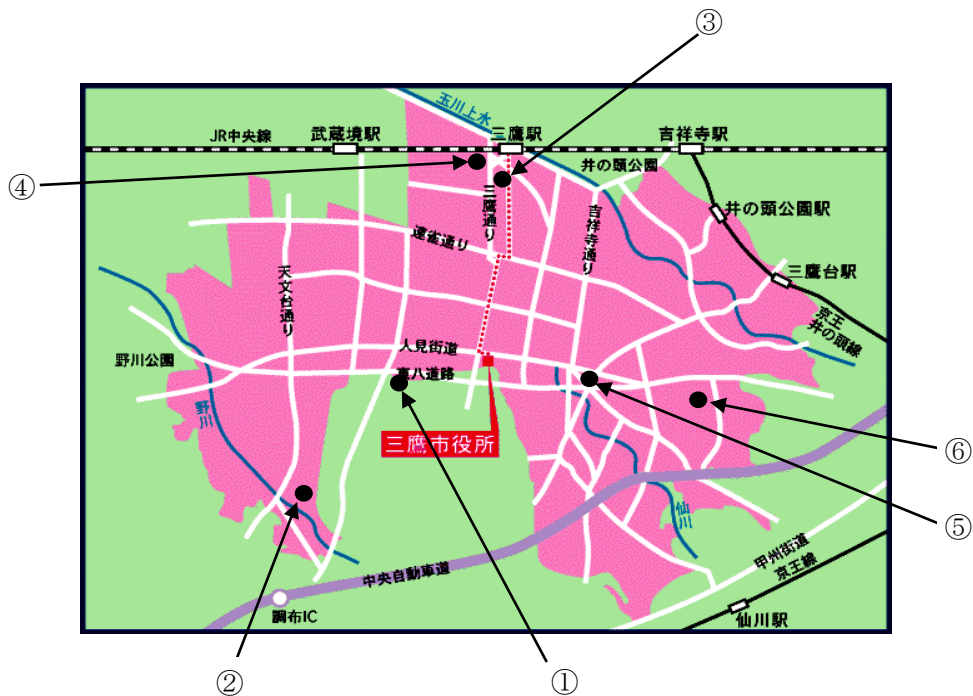
- ・北野小学童保育所

令和4年度に整備した学童保育所分室等のスペースに余裕があることから、消耗品等を追加購入し、受入児童数を拡充しました。

【財源内訳】

国庫支出金	117,000円	都支出金	188,000円
一般財源	238,689円		

令和5年度に取り組んだ主な施設整備



【社会福祉費】

①障がい者共同生活援助等事業所MUGEN

障がい者施設の整備への支援

②三鷹市福祉Laboどんぐり山

三鷹市福祉Laboどんぐり山の開設

【児童福祉費】

③ペガサス保育園三鷹駅前

認証保育所の認可移行に向けた取組

④アイム保育園

認証保育所の認可移行に向けた取組

⑤一小学童保育所

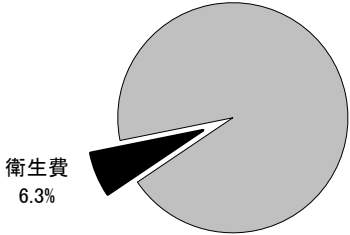
保育園及び学童保育所待機児童ゼロの継続に向けた取組

⑥北野小学童保育所

保育園及び学童保育所待機児童ゼロの継続に向けた取組

第4款 衛生費

■一般会計に占める割合



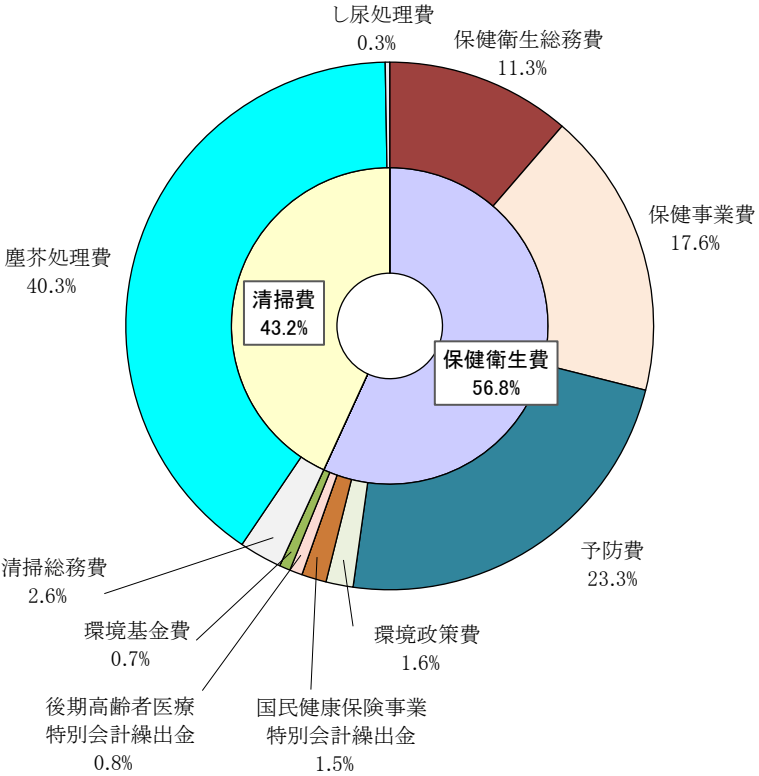
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	6,078,016	4,882,978	1,160,496	0	513,625	3,208,857	80.3%
令和4年度	6,675,374	5,471,342	1,718,125	0	495,755	3,257,462	82.0%
増△減	△597,358	△588,364	△557,629	0	17,870	△48,605	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



保健衛生費

1 「三鷹市休日・夜間 診療所・薬局」の運営 124,428,000円 121,478,589円
 ＜休日・夜間診療所・薬局事業費＞

市内各所に開設していた休日・休日準夜診療所、小児初期救急平日準夜間診療所、休日歯科応急診療所、休日薬局を一体的な施設「三鷹市休日・夜間 診療所・薬局」として、令和5年3月から運営を開始し、休日・夜間における医療体制の強化を図りました。

〔実績・内容〕

名称	診療日	診療時間	開設日数	受診者数
休日・休日準夜診療所	休日	午前10時～11時45分 午後1時～4時30分 午後6時～9時30分	73日	5,480人
小児初期救急平日準夜間診療所	平日	午後7時30分～10時30分	243日	486人
休日歯科応急診療所	休日	午前10時～午後0時15分 午後1時30分～4時	73日	235人
休日薬局	休日	午前10時～午後4時30分 午後6時～9時30分	73日	5,043人

※休日は日曜・祝日・年末年始

【財源内訳】

都支出金 15,931,000円

諸収入 4,095,299円

一般財源 101,452,290円

2 新型コロナウイルス感染症対策の推進 108,766,760円 34,453,514円

＜新型コロナウイルス感染症医療支援事業費、自宅療養者相談支援関係費、新型コロナウイルス感染症自宅療養者等医療支援事業費、新型コロナウイルス感染症対策関係費＞

令和5年5月8日から「5類感染症」へ移行しましたが、医療機関への助成と自宅療養者等への支援を令和5年9月末まで延長しました。なお、5類感染症への移行に当たっては、専門家の指導・助言を受けました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

[実績・内容]

(1) 医療機関への支援

ア 医療体制確保支援事業	33,003,333円
医療従事者の処遇充実（手当、安全な環境確保等）に係る経費を助成	
特定機能病院	延べ10床、1 医療機関
重点医療機関	延べ10床、1 医療機関
疑い患者受入協力医療機関	延べ2床、1 医療機関
PCR検査等行政検査実施医療機関	60医療機関
（令和5年5月末まで）	

イ 自宅療養者等医療支援事業	1,006,500円
自宅療養をしている方や感染が疑われる方に対する電話やオンラインでの遠隔診療及び往診等に係る経費を助成（令和5年5月7日まで）	
遠隔診療	延べ29件、6 医療機関
往診実施医療機関	延べ117件、4 医療機関

(2) 自宅療養者等への支援 433,681円

自宅療養者等が安心して自宅で療養できるよう、保健所等と情報共有を図りながら、感染症に係る相談支援や食料品等の支援を実施しました。5類感染症への移行後は自宅療養者相談支援センターは廃止しましたが、電話等による相談に対するきめ細かな対応を継続しました。

相談件数	7件
食料品支援（ごはん等3日分程度）	7件
生活用品支援（トイレトペーパー等）	6件
パルスオキシメーター支援	1件

(3) 専門家の助言 10,000円

三鷹市感染症対策アドバイザーから5類感染症への移行に当たっての助言等を受けました。

【財源内訳】

都 支 出 金	417,000円	一 般 財 源	34,036,514円
---------	----------	---------	-------------

3 高齢者・障がい者施設等でのPCR検査等の支援 7,860,000円 6,565,278円

＜PCR検査等助成事業費＞

高齢者・障がい者施設等における新型コロナウイルス感染症のPCR検査等に要する費用の助成について、東京都の補助制度の延長を受けて、令和6年3月まで継続しました。

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

助成対象 市内の高齢者・障がい者施設の事業所等が職員や利用者等に対して実施するPCR検査等に要する費用

助成金額 PCR検査 20,000円／1人当たり（上限額）
抗原検査 7,500円／1人当たり（上限額）

助成件数 PCR検査 1,651件、抗原検査 32件

【財源内訳】

都支出金	6,532,000円	一般財源	33,278円
------	------------	------	---------

4 住民税非課税世帯等の妊婦に対する初回産科受診料の支援

<妊婦・乳児健康診査等関係費>	780,000円	15,500円
-----------------	----------	---------

住民税非課税世帯等の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、必要な支援につなげるため、国の補助制度を活用し、令和5年4月から妊娠判定に係る初回産科受診料の助成を開始しました。

〔実績・内容〕

助成対象 住民税非課税世帯又は同等の水準である妊婦で、妊婦健診受診医療機関等と市が、必要に応じて妊婦健診の受診や家庭状況等の支援に必要な情報共有をすることに同意する方

助成金額 妊娠判定に係る初回の産科受診料の一部又は全額（上限1万円）

助成件数 3件

【財源内訳】

国庫支出金	7,000円	一般財源	8,500円
-------	--------	------	--------

5 妊婦健康診査の支援の充実

	22,006,000円	10,033,685円
--	-------------	-------------

<妊婦・乳児健康診査等関係費>

妊婦の経済的負担の軽減を図るとともに、安心して出産できるように、妊婦健康診査の超音波検査に係る費用について、新たに東京都で創設された補助制度を活用し、公費負担を1回から4回に拡充しました。

〔実績・内容〕

対象者 令和5年4月1日以降に妊娠の届出をした方

受診回数 1,744回（超音波検査2～4回目）

【財源内訳】

都支出金	10,033,000円	一般財源	685円
------	-------------	------	------

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

6 子育て力向上に向けた支援プログラムの充実 5,395,000円 4,601,847円

〈子育て支援プログラム事業費〉

乳幼児期の子を持つ保護者の子育て力を向上させるため、講座と実践のプログラムを組み合わせた「子育て支援プログラム」について、実施主体を総合保健センターとした上で、引き続き子ども発達支援センターと連携しながら実施しました。また、プログラムの実施回数を拡充するとともに、一部の講座及び実践プログラムを土曜日に開催することで、プログラムに参加しやすい環境を整備し、妊娠前から就園前までの親子に対する切れ目のない支援の充実を図りました。

〔実績・内容〕

講座 実施回数 60回、参加人数 443人
 実践プログラム グループ数 41グループ、参加人数 428人

【財源内訳】

都 支 出 金 2,300,000円 一 般 財 源 2,301,847円

7 若者と女性の健康づくりの推進 1,097,708円 706,214円

〈若者と女性の健康づくり推進事業費〉

思春期・青年期の若者や保護者に対し、妊娠・出産に関する基礎情報の情報提供を行うとともに、思春期から更年期までの女性には、婦人科疾患等に関する普及啓発や相談支援を行い、若者と女性の健康づくりを推進しました。

〔実績・内容〕

- ・思春期の子どもを持つ保護者向けのこころとからだの変化に関する講座実施
 実施回数 1回
 参加人数 266人（会場、オンライン、オンデマンド合計）
- ・近隣大学との連携により、学園祭等において若者の健康づくりに関する正しい情報の普及啓発や乳がん触診法の体験等、女性の健康づくりに関する普及啓発
- ・みたかマルシェや商工まつり等のイベントにおける女性の健康づくりに関する普及啓発
- ・乳幼児健診における乳がん・子宮がん健診の受診勧奨や女性の健康づくりに関する普及啓発
- ・助産師による不妊・不育に関する相談支援の実施
 相談件数 11件（電話、来所、メール）

【財源内訳】

都 支 出 金 658,000円 一 般 財 源 48,214円

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 妊婦・子育て支援の充実 314,903,000円 181,260,082円
 [うち令和4年度からの繰越分 125,370,000円 101,104,153円]

<伴走型・経済的支援事業費、同事業費（繰越明許費執行額）>

妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、国と東京都の補助金を活用し、保健師等による面談等を通じた妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない「伴走型相談支援」と、出産・子育て応援ギフトを支給する「経済的支援」を一体的に実施しました。

【各部の運営方針と目標 健康福祉部主要事業③ 目標指標⇒達成状況】

妊産婦等支援対象者へのアプローチ率 100%⇒100%

[実績・内容]

・伴走型相談支援

保健師・助産師・看護師により、妊娠届出後・妊娠8か月前後・出生届出後の妊産婦等に対して面談等を実施

妊娠届出 ゆりかご面接の実施

妊娠8か月前後 体調等に関するアンケートや面接を実施

出生届出 新生児訪問の実施

・経済的支援

妊娠届出に伴う面談後 妊婦1人に対し出産応援ギフト（ゆりかごギフト）5万円相当を支給

出生届出に伴う面談後 子ども1人に対し子育て応援ギフト（すこやかギフト）5万円相当を支給

※別途東京都の出産・子育て応援事業で5万円相当のギフトを支給

支給件数 ゆりかごギフト 2,783件

すこやかギフト 2,279件

【財源内訳】

国庫支出金	120,854,000円	都支出金	60,399,000円
一般財源	7,082円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種の実施

＜乳幼児等予防接種事業費＞ 110,688,106円 82,935,158円

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）について、定期接種として接種可能なワクチンに2価・4価ワクチンに新たに9価ワクチンを追加しました。

〔実績・内容〕

対象者 平成9年度生まれ（26歳）～平成23年度生まれ（11歳）の女性
 接種実績 接種人数 3,004人、接種率 7.1%

【財源内訳】

諸 収 入 2,158,104円 一 般 財 源 80,777,054円

10 帯状疱疹任意予防接種の一部公費負担の開始 127,062,886円 126,765,009円

＜高齢者等予防接種事業費＞

帯状疱疹の発症を予防するため、東京都で創設された補助制度を活用し、帯状疱疹任意予防接種費用の一部を公費負担し、自己負担の軽減を図りました。

〔実績・内容〕

対象者 令和5年6月1日以降に接種した50歳以上の市民
 助成内容 生ワクチン 4,000円
 不活化ワクチン 10,000円（2回まで）
 ※三鷹市の指定する医療機関以外で接種した方は償還払いを実施
 ※生活保護受給世帯等は、生ワクチン10,000円、不活化ワクチン20,000円（2回まで）を上限として実費を助成
 接種実績 7,696人

【財源内訳】

都 支 出 金 65,972,000円 一 般 財 源 60,793,009円

11 新型コロナウイルスワクチン接種事業の継続 1,001,775,130円 421,900,935円

＜予防接種事故対策関係費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費＞

新型コロナウイルスワクチンの接種について、予防接種法上の特例臨時接種の接種期間が令和6年3月末まで延長されたことに伴い、令和4年度に引き続き、三鷹市医師会や三鷹市薬剤師会等と連携し、市の特設会場における集団接種のほか、市内医療機関における個別接種や高齢者施設等での接種を計画的に実施しました。また、コールセンターを引き続き設置し、市民からの問い合わせや相談に対して、きめ細かな対応を行いました。

〔実績・内容〕

- (1) 12歳以上への令和5年春開始接種の実施（オミクロン株対応型1～2回目）
- 対象者 初回接種を完了し、最後の接種から3か月以上経過した①～③のいずれかに該当する方
①65歳以上 ②基礎疾患を有する方等 ③医療施設従事者等
- 接種期間 令和5年5月8日～9月19日
- 集団接種 元気創造プラザ 軽体操室
- 個別接種 市内医療機関約70箇所
- 接種実績 28,667回（令和6年3月31日時点の接種率 16.7%）
- (2) 小児への令和5年春開始接種（小児用オミクロン株対応型1～2回目）
- 対象者 初回接種を完了し、最後の接種から3か月以上経過した基礎疾患を有する5歳～11歳の小児
- 接種期間 令和5年5月8日～9月19日
- 個別接種 市内医療機関約20箇所
- 接種実績 184回（令和6年3月31日時点の接種率 1.6%）
- (3) 12歳以上への令和5年秋開始接種の実施（オミクロン株対応型1～3回目）
- 対象者 初回接種を完了し、最後の接種から3か月以上経過した方
- 接種期間 令和5年9月20日～令和6年3月31日
- 集団接種 元気創造プラザ 軽体操室
- 個別接種 市内医療機関約70箇所
- 接種実績 42,690回（令和6年3月31日時点の接種率 24.9%）
- (4) 小児への令和5年秋開始接種の実施（小児用オミクロン株対応型1～3回目）
- 対象者 初回接種を完了し、最後の接種から3か月以上経過した5歳～11歳の小児
- 接種期間 令和5年9月20日～令和6年3月31日
- 個別接種 市内医療機関約20箇所
- 接種実績 329回（令和6年3月31日時点の接種率 2.8%）
- (5) 乳幼児への令和5年秋開始接種の実施（乳幼児用オミクロン株対応型1回目）
- 対象者 初回接種を完了し、最後の接種から3か月以上経過した生後6か月～4歳の乳幼児
- 接種期間 令和5年9月20日～令和6年3月31日
- 個別接種 市内医療機関約10箇所
- 接種実績 145回（令和6年3月31日時点の接種率 2.3%）

(6) 初回接種等の継続

全年齢への初回接種及び5歳以上への令和4年秋開始接種を継続しました。

ア 全年齢の初回接種（従来型・オミクロン株対応型）

接種期間 ～令和6年3月31日（オミクロン株対応型は令和5年8月7日から使用開始）

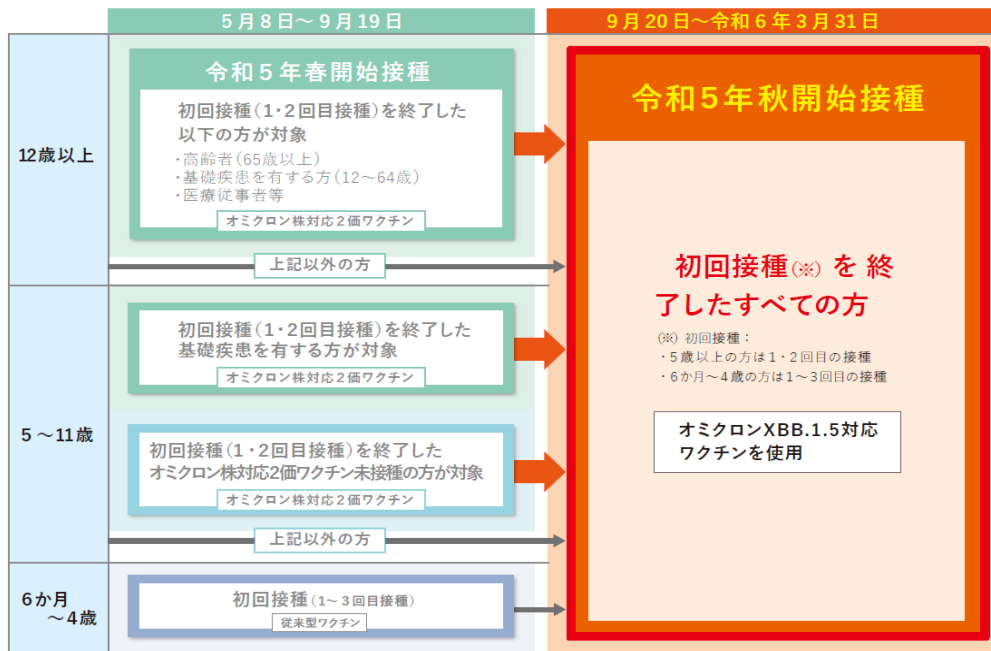
イ 12歳以上への令和4年秋開始接種（オミクロン株対応型1回目）

接種期間 ～令和5年5月7日

ウ 小児への令和4年秋開始接種（小児用オミクロン株対応型1回目）

接種期間 ～令和5年9月19日

■接種スケジュール（厚生労働省リーフレットより一部抜粋・加工）



(7) コールセンター設置期間の延長

設置場所 市民センター内（令和6年1月1日以降は元気創造プラザ）

受付時間 平日の午前9時～午後5時

(8) 健康被害救済への対応

ワクチン接種による健康被害を救済するため、予防接種法に基づく救済制度の申請等に関する相談を受け付けるとともに、三鷹市医師会や保健所、学識者などによって構成する予防接種健康被害調査委員会を開催し、申請内容について調査を行いました。

開催回数 4回

調査件数 7件

給付額 481,130円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	421,540,087円	諸収入	357,016円
一般財源	3,832円		

12 公共施設における太陽光発電等導入可能性調査の実施 9,823,000円 9,823,000円

＜地球温暖化対策関係費＞

令和3年6月に国が策定した「地域脱炭素ロードマップ」において、令和12年までに、国及び自治体の設置可能な建築物及び土地の約50%に太陽光発電設備を導入することを目指していることから、国の補助制度を活用して「公共施設への太陽光発電設備等導入可能性調査」を実施し、公共施設への太陽光発電や風力発電等の導入可能性を調査・検討しました。

〔実績・内容〕

調査対象施設	「新都市再生ビジョン」におけるすべての対象施設（163施設）及び公園設備
導入可能施設（太陽光発電）	井の頭コミュニティ・センター（本館・新館）、総合スポーツセンター弓道場・アーチェリー場、牟礼保育園、高齢者センターけやき苑、三鷹市福祉Laboどんぐり山

【財源内訳】

諸収入	7,367,000円	一般財源	2,456,000円
-----	------------	------	------------

13 「星空の街・あおぞらの街」全国大会のレガシー継承に向けた取組

＜環境学習事業費＞ 110,000円 0円

令和4年10月に本市で開催した「星空の街・あおぞらの街」全国大会をレガシーとして受け継ぐ取組を進めました。

〔実績・内容〕

国立天文台開催の特別公開イベント「三鷹・星と宇宙の日2023」（令和5年10月28日（土）開催）や各種事業での星空の見えるまちづくりに向けた光害の啓発

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

14 住宅・建築物の脱炭素化の支援 23,878,000円 18,282,602円

＜先導的環境活動支援事業費、ゼロエネルギータウン開発奨励事業費＞

令和4年12月のゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、温暖化対策設備やゼロエネルギーハウス等を設置する開発事業者に対して奨励金を交付する「ゼロエネルギータウン開発奨励事業」を実施するとともに、「新エネルギー・省エネルギー設備設置助成事業」の対象に、断熱改修工事を行う建築物所有者に対する助成を追加し、住宅・建築物の脱炭素化を推進しました。

【各部の運営方針と目標 生活環境部主要事業④ 目標指標⇒達成状況】

- ・ゼロエネルギータウン認定 2件⇒0件
- ・高断熱窓設置助成件数 10件⇒17件

〔実績・内容〕

- ・ゼロエネルギータウン開発奨励事業 0円
エネルギーの創・蓄・省に係る設備を備えた建築物を建築する開発事業者に対し、設置した設備のポイント数に応じて奨励金を交付する事業を実施しましたが、認定の実績はありませんでした。

- ・新エネ・省エネ設備設置助成事業 18,000,000円
太陽光発電設備や高効率給湯器のほか、既存建築物の断熱効果を高める改修工事への助成を実施しました。

助成実績	太陽光発電	86件
	蓄電池	103件
	高効率給湯器	167件
	高断熱窓	17件

【財源内訳】

繰入金	18,100,000円	一般財源	182,602円
-----	-------------	------	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

清掃費

1 リサイクルセンターの整備に向けた取組 280,024,000円 280,024,000円

＜ふじみ衛生組合関係費＞

ふじみ衛生組合を事業主体とし、組織市である調布市との共同で、新リサイクルセンターの稼働に向けた準備に取り組みました。令和5年度は、リサイクルセンター中央棟解体工事の設計を行うとともに、新施設稼働までの間の廃棄物処理を行うため、北棟・東棟の改造工事等を実施する事業者をプロポーザルにより選定しました。

〔ふじみ衛生組合会計決算〕

リサイクルセンター施設整備に係る中央棟解体工事に向けた取組や整備・運営事業に係る事業者選定（令和6年度末契約締結）に向けた取組等

42,559,000円

2 「三鷹市災害廃棄物処理計画」の策定 6,600,000円 3,850,000円

＜災害廃棄物処理計画策定関係費＞

災害時の早期復旧・復興を目的として、初動対応体制の構築と発生する廃棄物の迅速かつ適切な処理を定めた「三鷹市災害廃棄物処理計画」を策定しました。

【各部の運営方針と目標 生活環境部主要事業⑤ 目標指標⇒達成状況】

「三鷹市災害廃棄物処理計画」の策定＜3月＞⇒3月

〔計画の内容〕

災害廃棄物の適切かつ円滑な処理に必要な対応方法や処理体制をとりまとめました。

〔記載項目〕

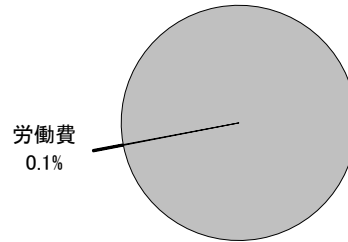
- ・対象とする廃棄物（災害廃棄物、生活ごみ、避難所ごみ、し尿）
- ・地域特性等を踏まえた対策（人員体制、収集運搬体制、搬入ルート、資機材等）
- ・災害廃棄物のリサイクルや環境に留意した廃棄物処理方法、処理フロー図
- ・平常時、初動期、応急対策期、災害復旧・復興期の対応等
- ・市民、事業者等への効果的な啓発手法（事前周知）等

【財源内訳】

諸 収 入	1,925,000円	一 般 財 源	1,925,000円
-------	------------	---------	------------

第5款 労働費

■一般会計に占める割合



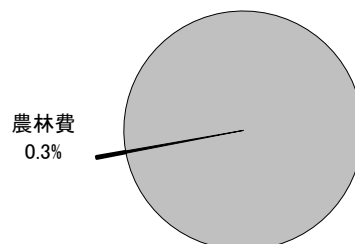
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	82,833	77,230	11,825	0	0	65,405	93.2%
令和4年度	76,428	66,208	11,478	0	0	54,730	86.6%
増 △減	6,405	11,022	347	0	0	10,675	—

第6款 農林費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	263,252	240,462	71,548	0	3,512	165,402	91.3%
令和4年度	211,589	187,403	22,192	0	6,924	158,287	88.6%
増△減	51,663	53,059	49,356	0	△3,412	7,115	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

農業費

1 持続可能な都市農業に向けた実証

1,191,000円

214,280円

＜農業振興事務関係費＞

令和3年10月に三鷹まちづくり総合研究所に設置された「持続可能な都市農業に向けた研究会」での調査研究を踏まえ、剪定枝等の堆肥化の実証を行いました。

〔実績・内容〕

東京むさし農業協同組合三鷹地区青壮年部が国際基督教大学構内で行っている馬糞堆肥製造の取組の中で、植木や果樹の剪定枝等を混ぜた馬糞堆肥の試作に取り組みました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額												
2 市内産農産物の活用促進に向けた取組	13,560,000円	11,733,307円												
＜「三鷹産野菜の日」関係費、市内産農産物利用推進事業費＞ 地産地消の更なる拡充を図るため、東京むさし農業協同組合三鷹支店と協力し、学校給食における市内産農産物の活用促進に向けた取組や公立・公私連携保育園を対象にした「三鷹産野菜の日」を引き続き実施しました。 【各部の運営方針と目標 生活環境部主要事業① 目標指標⇒達成状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における市内産農産物の使用率 30%⇒21.6%（前年度19.9%） ・「三鷹産野菜の日」の実施 2回⇒2回 [実績・内容] <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食市内産農産物活用事業補助金 市内産農産物の使用率30%の達成に向けて、物価高騰を踏まえ市内産農産物の購入経費を増額するとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣等が身に付く食育を推進する研究校を3校から6校に拡充しました。 ・市内産農産物の購入経費の拡充 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象校</td> <td>市立小・中学校（22校）</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>児童・生徒一人当たり480円から520円に拡充 （研究校は600円から650円に拡充）</td> </tr> <tr> <td>研究校</td> <td>6校</td> </tr> </table> ・市内産農産物活用支援事業補助金（三鷹産野菜の日） <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象施設</td> <td>公立・公私連携保育園 18園</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td>春夏と秋冬の2回</td> </tr> </table> [関連事業費] <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>教育費 食育の推進</td> <td>351,004円（166ページ参照）</td> </tr> </table>	対象校	市立小・中学校（22校）	補助金額	児童・生徒一人当たり480円から520円に拡充 （研究校は600円から650円に拡充）	研究校	6校	対象施設	公立・公私連携保育園 18園	実施時期	春夏と秋冬の2回	教育費 食育の推進	351,004円（166ページ参照）		
対象校	市立小・中学校（22校）													
補助金額	児童・生徒一人当たり480円から520円に拡充 （研究校は600円から650円に拡充）													
研究校	6校													
対象施設	公立・公私連携保育園 18園													
実施時期	春夏と秋冬の2回													
教育費 食育の推進	351,004円（166ページ参照）													
3 農業公園の施設改修	38,188,000円	35,776,950円												
＜農業公園管理運営費＞ 農業公園の安全及び衛生面の向上を図るため、令和4年度の設計に基づき、園内のトイレの建替えとともに、公園入口からトイレまでの園路のバリアフリー化工事を実施しました。また、雨水ますを整備し、雨天時における園内通路の改善に取り組みました。 【財源内訳】 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>都支出金</td> <td>27,907,000円</td> <td>一般財源</td> <td>7,869,950円</td> </tr> </table>	都支出金	27,907,000円	一般財源	7,869,950円										
都支出金	27,907,000円	一般財源	7,869,950円											

■建替え後の農業公園のトイレ



4 農家への肥料等購入費用の支援

6,632,000円

2,372,078円

<農産物栽培用肥料等購入費助成事業費>

農産物栽培用の肥料価格の高騰が続いていることから、前年度に引き続き、肥料購入費用の一部助成を実施しました。また、肥料と同様に価格が高騰している家畜用飼料を助成の対象に追加し、市内農家への支援拡充に取り組みました。

〔実績・内容〕

対象経費 令和5年4月1日～令和6年2月29日に購入した肥料及び飼料に係る経費

補助金額 認定農業者及び準認定農業者 上限10万円（補助率3／10）

一般農家 上限4万円（補助率3／10）

※国又は地方公共団体の補助等がある場合は、市の補助とあわせて、購入に要した費用の30%までの額

助成件数 67件

【財源内訳】

国庫支出金 2,196,000円

一般財源 176,078円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 新規就農者への定着支援 37,406,000円 37,109,000円

＜新規就農者定着支援事業費＞

今後の市の農業を担うことが期待され、「農業経営基盤強化促進法」に基づき新たに市が認定した就農者に対し、農業経営の早期安定を図るため、東京都の補助金を活用し、就農に必要な施設整備や機械導入に係る経費等を助成しました。

〔実績・内容〕

対象者 農業経営基盤強化促進法に基づく「青年等就農計画」について、市の認定を受けた新規就農者 1名

対象経費 施設整備に要する経費
鉄骨ハウス、養液栽培施設、ミニトマト選別機、磨き機、貯蔵庫、自動販売機

補助金額 37,109,000円

【財源内訳】

都 支 出 金	36,909,000円	一 般 財 源	200,000円
---------	-------------	---------	----------

6 農家への施設栽培用暖房設備の燃料購入費用の支援 1,541,000円 358,651円

＜農業施設用燃料費助成事業費＞

施設栽培用暖房設備に使用する重油及び灯油等の価格高騰が続いていることから、農産物の価格上昇を抑制し、農業者の負担軽減を図るため、令和4年度に引き続き、燃料購入費用の一部を助成しました。

〔実績・内容〕

対象者 農業用ハウスで販売用農産物を生産する市内農家

補助対象 令和5年10月1日～令和6年2月29日に農業用ハウスの加温に使用した重油及び灯油等の燃料購入費用

補助金額 A重油 1リットル当たり上限30円

灯油等 1リットル当たり上限20円

※令和2年3月時点における一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター調べの納入価格と購入価格の差額を補助

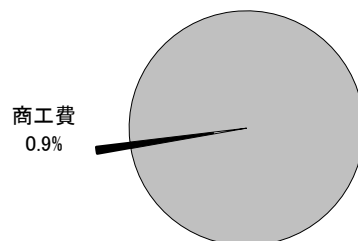
補助件数 6件

【財源内訳】

国 庫 支 出 金	329,000円	一 般 財 源	29,651円
-----------	----------	---------	---------

第7款 商工費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和5年度	760,529	686,534	113,489	74,000	50,703	448,342	90.3%
令和4年度	1,149,802	1,015,810	449,769	0	48,306	517,735	88.3%
増△減	△389,273	△329,276	△336,280	74,000	2,397	△69,393	—

事業名 < 事項名 > 及び事業概要

予算現額

決算額

商工費

1 経営相談窓口の開設期間の延長

4,366,000円

4,032,600円

<商工会助成事業費>

三鷹商工会との協働により令和2年3月23日から開設している経営相談窓口について、原油価格や物価高騰が続く中、円安の長期化がもたらす経営への影響やインボイス制度への対応など、新たな課題に対応するため、開設期間を令和6年3月まで延長しました。

[実績・内容]

相談体制 三鷹商工会において、週2日(火・木)開設

支援内容

- ・インボイス制度の開始に伴う制度理解や事前準備等への支援
- ・物価高騰の長期化、金利上昇などに伴う国や東京都の各種経営改善支援事業の活用への支援 等

相談実績 170件

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 中小企業等への新たな支援 10,000,000円 9,291,435円

＜商工会助成事業費＞

市及び三鷹商工会等が行う支援事業について、補助メニューを統合・補完するとともに、実施主体を三鷹商工会に一本化することで、市内中小企業等が利用しやすい制度へと改めました。

【各部の運営方針と目標 生活環境部主要事業② 目標指標⇒達成状況】

補助金申請件数 30件⇒38件（うち確定件数32件）

〔実績・内容〕

(1) 統合した支援事業

- ・三鷹市生産性向上補助金
- ・三鷹商工会新技術・サービス開発支援事業費補助金
- ・三鷹商工会新規開拓推進事業費補助金
- ・東京都BCP策定支援事業

(2) 新たな支援事業

補助名称	中小企業等産業活性化補助金	
対象者	市内中小企業等	
対象経費	・グリーン枠	0件
	経済と環境の好循環の実現に資する経費	
	・レジリエンス枠	1件
	事業継続計画の策定支援やリスクへの備えに関する経費	
	・デジタル枠	3件
	デジタル人材の育成やシステム構築等に係る経費	
	・その他(一般)枠	28件
	上記以外の経営改善に資する経費	
補助率	グリーン・レジリエンス・デジタル枠	2 / 3
	その他(一般)枠	1 / 2
補助上限	新製品・新技術の研究開発	1事業所当たり100万円
	その他の経費	1事業所当たり30万円

【財源内訳】

都支出金	4,622,000円	一般財源	4,669,435円
------	------------	------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
3 商店会の販売促進と活性化に向けた支援の実施	3,146,000円	1,842,776円
<商店街助成事業費> 三鷹商工会と三鷹市商店会連合会（以下「市商連」という。）が開発した地域情報共有アプリ「ミィね！mitaka」のデジタルスタンプラリー機能等を活用した一斉歳末セールを支援し、販売促進を図りました。 [実績・内容] 市商連と三鷹商工会が参加店舗を募り、FC東京やアール・ブリュット作品展事業との連携により、一斉歳末セールを開催しました。開催期間中に「ミィね！mitaka」を活用し、集めたスタンプ数に応じて景品と交換できるデジタルスタンプラリーを実施することで、身近な商店の利用や市内周遊を促進し、地域の活性化につなげました。 開催期間 令和5年12月20日（水）～令和6年1月31日（水） 参加店舗 54店舗 イベント参加者数 130人 [関連事業費] 民生費 三鷹市商店会連合会等と連携したアール・ブリュット作品の展示 690,600円（97ページ参照）		
4 不況対策緊急資金融資あっせん制度の要件緩和の延長	48,570,059円	42,170,597円
<中小企業者支援事業費> 令和2年4月から実施している不況（特定不況）対策緊急資金の貸付要件の緩和について、令和5年9月まで延長して実施しました。		

〔実績・内容〕

年 度	令和2～4年度		令和5年度
名 称	不況（特定不況）対策緊急資金		
貸付限度額	運転資金：800万円（令和2年度は1,600万円）		
利 率	本人負担：0.35% 市負担：1.625%		
信用保証料	100%補助		
返済期間	6年（据置12か月）		
貸付要件における売上減少の比較期間	①基本要件	②緩和要件	②について 令和5年9月まで延長
	最近3か月または1年間の売上額実績と過去同期を比較	（新型コロナウイルス対策分） 最近1か月の実績額または最近1か月及び今後2か月を含む3か月の実績見込と過去同期を比較	
減少割合	10%以上減少	減少のみ （割合は問わない）	

あっせん件数 不況対策緊急資金 31件
 特定不況対策緊急資金 125件

5 お土産品の開発と観光多言語音声ガイドの充実

799,000円

799,000円

＜観光振興推進事業費＞

NPO法人みたか都市観光協会（以下「観光協会」という。）の設立15周年を記念して、観光協会との協働により「三鷹市観光基本方針」に掲げる「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち三鷹～」の実現に向けた観光振興施策を推進しました。

〔実績・内容〕

- ・お土産品の開発 400,000円

観光協会の設立15周年を記念して、「天文台があるまち三鷹」をテーマとし、三鷹産バタフライピーやブルーベリーを原材料に使用したお土産品の開発を支援しました。

商 品 名 みたか宙球（そらだま）ゼリィ

販売価格 1,100円（「ほしぞら」「あおぞら」の2個セット）

- ・観光多言語音声ガイドの充実 399,000円

「みたか散策マップ」と地域情報アプリ「ミィね！mitaka」を連携し、利用者の位置情報と連動して、観光スポットに近づくと4か国語の音声ガイドが聞ける機能の導入を支援しました。

■みたか宙球（そらだま）ゼリィ



6 三鷹産業プラザ第1期棟の購入

199,300,000円 193,800,000円

＜三鷹産業プラザ第1期棟取得事業費＞

独立行政法人中小企業基盤整備機構が所有する「三鷹産業プラザ(第1期棟)」について、売却の方針が示されたことから、引き続き市の産業振興の中核施設として活用していくため、東京都の補助金を活用して同建物を購入しました。

〔施設概要〕

所在地	下連雀三丁目38番4号
敷地面積	1,638.67㎡
階数	地下1階から地上7階
建築構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造

【財源内訳】

都支出金	95,133,000円	市債	74,000,000円
一般財源	24,667,000円		

7 理美容事業継続支援事業の実施

6,431,000円 6,209,303円

＜理美容事業継続支援事業費＞

市民生活に必要な不可欠な生活衛生サービスや高齢者宅への訪問型サービスを提供し、健康福祉面で重要な役割を担っている市内の理美容事業者の事業継続を支援するため、光熱費及び仕入価格等の高騰分に対して給付金を給付しました。

〔実績・内容〕

支援対象	約250箇所（理容所約80箇所、美容所約170箇所）
給付金額	1事業所当たり3万円
給付件数	187件

【財源内訳】

国庫支出金	5,791,000円	一般財源	418,303円
-------	------------	------	----------